

五島中央病院紀要

第 24 号



長崎県五島中央病院

目 次

1. 巻 頭 言 院長 竹島 史直	1
2. 令和3年度診療科別業績集他	3
1) 内科	4
2) 外科	5
3) 地域医療連携部	6
3. 2021年内科入院患者数	7
4. 2021年精神科・神経科 新来患者統計	9
5. 令和3年度診療業務実績	11
6. 各診療科別年間手術症例数	16
7. 救急患者搬送一覧	18
8. 令和3年度抗菌剤（注射薬）及び主要消毒薬使用概況	20
9. 当院の微生物検査の動向	27
10. 令和3年度来訪者及び主な行事	33
11. 投稿規定	34

巻 頭 言

令和2年4月より病院長として赴任致しました竹島史直と申します。赴任以来早くも3年が過ぎ去ろうとしています。振り返りますと令和4年は私の赴任以来最も大変な年となりました。2年半前に始まった新型コロナウイルス感染症に対して当院では、5階北病棟を休棟としてコロナ患者専用の病棟として運用してきました。当時はウイルス自体に関してよくわかっておらず、混合病棟では診療が困難と考えられていました。旧5階北病棟のスタッフを主に5階南およびその他の部署に配置し、新型コロナウイルス陽性入院患者さんが出ると各部署より招集して患者さんを診る体制を継続してきました。しかしながら、看護師の退職が相次ぎ、昨年末にはコロナ専属の看護体制を敷くことが不可能になってしまいました。このため、令和5年1月より3階南病棟機能を5階北病棟へ移行し、併せて結核病床（コロナ病床）10床を5階北病棟へ集約し、一般病棟40床、結核病床（コロナ病床）10床で運営することといたしました。コロナ禍における医療スタッフの離職は多くの医療施設での問題となっており、日本医労連の実態調査結果によると公的病院において離職者数15人以上の施設は3割を超えているとの報告もあります。当院における離職の理由は、様々ですが、病院としての対応、配慮不足も一因と考えておりこの点は管理者として申し訳なかったと思います。今後は離職を防ぐためにはどうすべきか、まずは全部門の職員から構成するワーキンググループを年初より立ち上げ、働きやすい環境をどのように構築すべきか検討する予定です。当面の看護師不足に対しては、五島市、長崎県精神医療センター、浦クリニックから応援の派遣を頂きました。温かいご支援に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

さて、本院は、平成18年4月より“五島の地域医療に貢献し、患者様に信頼される病院をめざします”を病院理念として取り組んで参りました。今後も継続すべき素晴らしい理念と考えますが、より積極的に全職員が関与するように、少し表現を変更することといたしました。令和4年4月より“**私たちは五島の地域医療に貢献し、患者さんに信頼される医療を提供します**”を当院の病院理念と変更しました。同時に基本方針も以下のように変更しました。1. 患者さんの権利を尊重し、患者さん本位の医療を実施します。2. 医療水準の向上に努め、地域の基幹病院としての使命を果たします。3. 精度の高い予防医療を推進します。4. 病診・病病連携、保健・福祉機関との連携を密にします。5. 医療人教育に積極的に取り組みます。6. 健全な病院運営に努めます。大きな変更点は、患者さんの権利の尊重を基本方針に明示したこと、予防医療推進、医療人教育、健全な運営を取り上げたことです。コロナ禍で医療がひっ迫したことにより最も影響を受けた予防医療、医療資源の乏しい離島こそ必要な医療人教育、安定した高度な医療を提供するための健全な病院運営が重要と考えたためです。またこれまで用いていた患者様という表現を患者さんへ変更しました。

明るい話題としましては、4月より新事務部長として河野完治氏を鹿児島医療センターより迎えました。実直な人柄で柴田和昭課長とともに事務部門を支えてくれています。2021年8月より施工していた外壁・屋上防水修繕工事も3月末には終了し、病院外観が新しく明るくなりました。10月には入院患者

さんからの希望が最も多かった院内 Wi-Fi サービスを開始することができ、患者さんたちには好評です。11月には、研修医や応援医師の増加により手狭であった医局の全面改修を行いました。また今年度は5名の初期研修医が当院で研修中であり、来年度も3名の研修が内定しています。今後も研修指導責任者の福島伸良先生を中心に新しい力を育てていきたいと思ひます。

さて、今年の干支は癸卯（みずのとう）にあたります。癸は大地をうるおす恵みの水、卯は穏やかなウサギの様子から安全、温和の意味があります。陰陽五行説では「寒気が緩み萌芽を促す」という意味もあるそうです。厳しい冬を越えて草木が芽生え始める。コロナ禍を乗り越えて素晴らしい健康な一年になることをお祈り申し上げます。これからも五島市民の皆様や地域医療機関の先生方のご要望に応えられるように微力ながら精一杯頑張つてまいりますので、今後のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

院 長 竹 島 史 直

五島中央病院業績集

令和3年度業績集

1. 内 科

論 文

Chiwata M, Itonaga H, Sato S, Hashimoto M, Fujioka M, Kasai S, Sakamoto H, Toriyama E, Nakashima J, Kamijo R, Kitanosono H, Kobayashi Y, Horai M, Taguchi M, Matsuo M, Makiyama J, Takasaki Y, Matsuo E, Horio K, Ando K, Sawayama Y, Taguchi J, Kawaguchi Y, Tsushima H, Imanishi D, Imaizumi Y, Yoshida S, Jo T, Nonaka H, Moriuchi Y, Nagai K, Yokota KI, Hata T, Miyazaki Y. Efficacy and Cardiovascular Adverse Events of Long-term Treatment with Tyrosine Kinase Inhibitors for Chronic Myeloid Leukemia: A Report from the Nagasaki CML Study Group. Intern Med. 2021 Jul 15; 60 (14): 2207-2216.

Ito, Y., Takazono, T., Koga, S., Nakano, Y., Ashizawa, N., Hirayama, T., Tashiro, M., Saijo, T., Yamamoto, K., Imamura, Y., Miyazaki, T., Yanagihara, K., Izumikawa, K., Mukae, H. Clinical and experimental phenotype of azole-resistant *Aspergillus fumigatus* with a HapE splice site mutation: a case report BMC Infect Dis. 2021 21 (1): 5732.

Akazawa Y, Morisaki T, Fukuda H, Norimatsu K, Shiota J, Hashiguchi K, Tabuchi M, Kitayama M, Matsushima K, Yamaguchi N, Kondo H, Fujita F, Takeshita H, Nakao K, Takeshima F. Significance of serum palmitoleic acid levels in inflammatory bowel disease. Sci Rep. 2021 Aug 10; 11(1): 16260.

Shinzaki S, Matsuoka K, Tanaka H, Takeshima F, Kato S, Torisu T, Ohta Y, Watanabe K, Nakamura S, Yoshimura N, Kobayashi T, Shiotani A, Hirai F, Hiraoka S, Watanabe M, Matsuura M, Nishimoto S, Mizuno S, Iijima H, Takehara T, Naka T, Kanai T, Matsumoto T. Leucine-rich alpha-2 glycoprotein is a potential biomarker to monitor disease activity in inflammatory bowel disease receiving adalimumab: PLANET study. J Gastroenterol. 2021 Jun; 56 (6): 560-569.

田島 和昌、福嶋 伸良、吉良 圭史、東郷 政明、柴田 雅士、馬渡 将語、林 洋子、下川 功、竹島 史直、中尾 一彦 Direct acting antiviral 治療後に原発不明癌を発症し急激な転機を辿ったC型肝炎硬変の1例 肝臓 (0451-4203) 63巻2号 Page77-86 (2022. 02)

竹島 史直、西山 仁 エルシニア腸炎 IBD クリニカルカンファレンス 2021 : 3 (1)15-16

竹島 史直、町田 治久 症例から学ぶIBD診断のコツ スプルー様腸疾患 2021 : 15(3)171-6.

福嶋 伸良 研修医・若手医師のための外来必携 第2章各論 21黄疸 編者 浜田 久之 株式会社じほう 東京 P 289-299 2021年11月25日発行

学 会

増田 岳¹⁾、高木 博人¹⁾、山下 由恵¹⁾、西野 友哉²⁾ 1) 長崎県五島中央病院 内科 2) 長崎大学病院 腎臓内科 ロキサデスタットの関連も考えられた保存期慢性腎不全の non-thyroidal illness (NTI) の一例 第51回日本腎臓学会西部学術大会

上原 裕規¹⁾、高木 博人¹⁾、山下 由恵¹⁾、西野 友哉²⁾ 1) 長崎県五島中央病院 内科 2) 長崎大学病院 腎臓内科 繰り返し発症した小腸新膀胱由来の代謝性アシドーシスの1例 第335回内科学会九州地方会

井上 知晃、高木 博人、野中 文陽、山下 由恵、竹島 史直、西野 友哉、フラッシュグルコースモニタリング(FGM)を用いた血液透析患者の糖尿病への介入、第59回日本糖尿病学会九州地方会、2021年11月19日-20日

古賀 公基、東郷 政明、馬渡 将語、柴田 雅士、福嶋 伸良、竹島 史直 十二指腸憩室出血をクリップにて止血し得た1例(会議録) 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集118回・112回 Page117 (2021.12)

井上 知晃、福嶋 伸良、今西 大介、馬渡 将語、柴田 雅士、東郷 政明、鹿毛 政義、竹島 史直 ATL肝浸潤にステロイド投与が奏功した1例(会議録) 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集118回・112回 Page118 (2021.12)

増田 岳、馬渡 将語、福嶋 伸良、池谷 千章、柴田 雅士、東郷 政明、鹿毛 政義、竹島 史直 免疫チェックポイント阻害剤開始1年以上経過して肝機能障害を呈した肺癌の一例(会議録) 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集118回・112回 Page120 (2021.12)

塚本 祐生、馬渡 将語、柴田 雅士、東郷 政明、福嶋 伸良、竹島 史直、中尾 一彦 胆道ステント先端に結石を形成し内視鏡的摘除困難となった総胆管結石の1例(会議録) 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集118回・112回 Page123 (2021.12)

馬渡 将語、柴田 雅士、東郷 政明、福嶋 伸良、竹島 史直、中尾 一彦 ベドリズマブ投与中にサイトメガロウイルス腸炎を合併した潰瘍性大腸炎の1例(会議録) 日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集118回・112回 Page149 (2021.12)

花村 衣咲、野中 文陽、上条 将史、江頭 清美、川崎 遥香、大村 美保、世羅 至子、村瀬 邦彦、前田 隆浩、河手 久弥、高齢2型糖尿病患者のフレイルと食事および運動介入の効果 都市部と離島地域の比較、第71回日本体質医学会総会、2021年9月4日-5日

野中 文陽、平山 奈々、谷川 美喜子、松野尾 節子、花村 衣咲、高木 博人、前田 隆浩、竹島 史直、1型糖尿病患者に生じる低血糖の臨床的背景、第59回日本糖尿病学会九州地方会、2021年11月19日-20日

花村 衣咲、平山 奈々、川上 知美、竹島 史直、野中 文陽、COVID-19が離島に居住する糖尿病患者の生活状況と血糖コントロールに及ぼす影響、第59回日本糖尿病学会九州地方会、2021年11月19日-20日

2. 外 科

学 会

第83回日本臨床外科学会 東京 2021/11/18

腫瘍出血をきたした乳腺粘液癌の1例

塚本 祐生、吉野 恭平、虎島 泰洋、北島 正親、伊藤 裕司、橋本 敏章

第83回日本臨床外科学会 東京 2021/11/18

乳管内乳頭腫瘍による血性乳汁分泌を契機に発見された乳癌の1例

古賀 公基、松隈 国仁、虎島 泰洋、北島 正親、伊藤 裕司、橋本 敏章

第83回日本臨床外科学会 東京 2021/11/18

胆嚢内乳頭状腫瘍(Intracholecystic papillary neoplasm of gallbladder)とadenomaの混在が認められた1例

上原 裕規、虎島 泰洋、北島 正親、福島 伸良、竹島 史直、長置 健司、伊藤 裕司、橋本 敏章

第83回日本臨床外科学会 東京 2021/11/18 口演

大腸癌原発胎児消化管類似癌の肝転移の1例

古賀 洋一、北里 周、肥大 泰慈、哲翁 華子、村上 俊介、三好 敬之、濱田 隆志、米田 晃、竹下 浩明、三浦 史郎、黒木 保

3. 地域医療連携部

令和3年度 五島中央病院オープンカンファレンス開催実績表

日時：第4火曜日 18:30～

場所：五島中央病院 2階 講義室

回	開催日	演 題	講 師	参加者数		
				院内	院外	計
第145回	2月22日(火)	認知症治療の現状について	五島中央病院 精神科 中野 健 先生	33	40	73
計				33	40	73

2021年 内科入院患者（令和3年1月～12月）（2205例）

（入院延べ総数 1患者1病名 主に新患紹介台帳・画像レポート・主治医に基づいて）

消化器（685例）		偽膜性腸炎	1	呼吸器（436例）	
食道癌	17	食道炎	1	肺癌	123
胃癌	32	好酸球性胃腸炎	4	慢性呼吸不全	3
大腸癌	52	突発性食道破裂	1	CO ₂ ナルコーシス	5
肝細胞癌	18	マロリーワイス症候群	3	肺炎	64
肝・総胆管癌	30	消化管穿孔	3	肺化膿症	3
膵臓癌	34	食欲不振	1	誤嚥性肺炎	44
胆のう癌	5	機能性ディスペプシア	3	肺アスペルギルス症	3
胃粘膜下腫瘍	4	腸重積	2	肺クリプトコッカス症	2
直腸神経内分泌腫瘍	5	過敏性腸症候群	1	ニューモシスチス肺炎	1
胃ポリープ	3	S状結腸軸捻転	1	レジオネラ肺炎	1
大腸ポリープ	97	痔核	2	気管支炎	2
肝のう胞	2	便秘	3	非結核性抗酸菌症	8
急性肝炎	3	肝損傷	1	肺結核	6
NASH	1	骨盤内癒着	2	新型コロナウイルス感染症	88
非B非C肝炎	1	上腸管膜動脈症候群	1	気管支拡張症	4
自己免疫性肝炎	4	魚骨	3	副鼻腔気管支症候群	1
薬剤性肝障害	2	腸管膜リンパ節炎	1	胸膜炎	1
アルコール性肝障害	15			膿胸	2
PBC	2	循環器（317例）		喘息	4
肝硬変	9	心不全	85	COPD 増悪	6
胃・食道静脈瘤	9	狭心症	74	間質性肺炎	25
肝膿瘍	3	急性心筋梗塞	29	過敏性肺炎	2
胆嚢炎	19	陳旧性心筋梗塞	21	器質化肺炎	4
胆管炎	27	冠動脈瘤	1	気胸・縦隔気腫	11
総胆管結石	72	A-V ブロック	17	肺サルコイドーシス	3
胆管狭窄	11	ペースメーカー電池交換など	11	急性細気管支炎	1
膵炎	21	心房細動	13	肺線維症	2
膵管狭窄	1	SSS	8	薬剤性肺障害	12
自己免疫性膵炎	1	PSVT	1	肺胞出血	3
突発性門脈圧亢進症	1	弁膜症	14	塵肺	1
イレウス	35	心筋症	5	窒息	1
消化管出血	11	高血圧性心筋症	1		
出血性消化性潰瘍	22	無症候性心筋虚血	1	腎臓（174例）	
放射線性腸炎	1	心外膜炎	1	慢性腎不全	37
クローン病	2	大動脈瘤（解離性など）	9	ネフローゼ症候群	5
潰瘍性大腸炎	5	下肢動脈狭窄・閉塞	9	腎盂腎炎	23
虚血性大腸炎	12	深部静脈血栓症	2	シャントトラブル	60
虫垂炎	12	肺動脈血栓症	1	尿路感染	30
憩室出血	16	高血圧	7	尿管結石	1
胃・十二指腸炎	1	心室頻拍	3	急性腎不全	7
腸炎	23	肺高血圧症	2	IgA 腎症	2
大腸憩室炎	10	心アミロイドーシス	2	膜性腎症	1

ANCA 関連腎炎	3	感染症 (63例)		肋骨骨折	1
CAPD 腹膜炎	1	発熱・不明熱	8	外傷性皮下血腫	1
膀胱癌	2	敗血症	21	脾損傷	2
前立腺癌	1	髄膜炎	2	アナフィラキシーショック	8
急性前立腺炎	1	带状疱疹	7	ヒスタミン中毒	1
		蜂窩織炎	9	子宮癌	1
血液 (176例)		扁桃炎	4	口唇癌	1
悪性リンパ腫	79	SFTS	1	口腔内癌	1
白血病	12	皮下膿瘍	2	舌癌	1
ATL	39	腸腰筋膿瘍	1	咽頭癌	5
多発性骨髄腫	8	化膿性耳下腺炎	1	原発不明癌	2
MDS	15	化膿性脊椎炎	1	横紋筋融解症	2
貧血	19	化膿性甲状腺炎	1	突発性難聴	2
好中球減少症	2	頬部膿瘍	1	急性喉頭蓋炎	1
赤芽球癆	1	腎周囲膿瘍	1	喉頭浮腫	1
本能性血小板血症	1	遺残性尿管膿瘍	1	口内炎	1
		歯髄炎	1	鼻出血	1
代謝 (70例)		感冒	1	廃用性症候群	1
糖尿病	30			腰痛症	1
低血糖 (DM)	2	膠原病・内分泌 (18例)			
糖尿病性ケトアシドーシス	4	関節リウマチ	3		
高 Na・低 Na 血症	13	RA 性多発筋痛	2		
高 K・低 K 血症	11	全身性エリテマトーデス	2		
高 K 血性周期性四肢麻痺	1	皮膚筋炎	2		
高 K・低 Ca 血症	5	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2		
痛風	1	顕微鏡的多発血管炎	1		
偽痛風	1	抗リン脂質抗体症候群	1		
アルコール性ケトーシス	1	多発血管炎性肉芽腫症	1		
高アンモニア血症	1	多発性乾癬関節炎	1		
		強直性脊椎炎	1		
神経 (202例)		RS 3 PE 症候群	1		
脳梗塞	93	偽性アルドステロン症	1		
TIA	14				
脳出血	33	その他 (64例)			
くも膜下出血	4	薬物・農薬中毒	6		
硬膜下血腫	12	慢性アルコール中毒	3		
失神	1	急性アルコール中毒	2		
てんかん・けいれん	15	薬疹	1		
眩暈	11	紅皮症	1		
パーキンソン病	1	うっ滞性皮膚炎	1		
迷走神経反射	1	悪性症候群	1		
顔面神経麻痺	7	熱中症	4		
うつ	2	低体温症	1		
不安障害	2	脱水	6		
認知症	2	多臓器不全	1		
術後水頭症	2	胸椎・腰椎圧迫骨折	2		
頭痛	2	脊椎管狭窄症	1		

報告：五島中央病院精神科・神経科 新来患者統計：令和3年

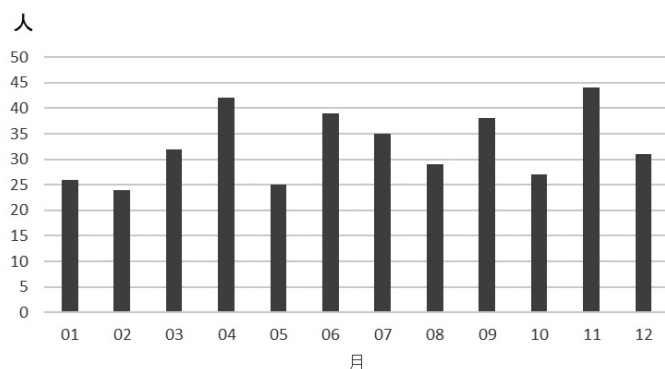
精神科・神経科 小田 孝

対象：令和3年1月1日から令和3年12月31日まで当科に新しく受診した患者

方法：カルテ記載に基づいた、年齢、性別、ICD-10に基づく精神科診断、住所、初診時入所施設、受診経路、小・中・高校生別受診者数を調査

結 果

1. 月別受診者数



2. 性別受診者数と初診時の年齢構成、平均年齢

	男性(人)	女性(人)	合計(人)
20歳未満	27	21	48
20～49歳	44	62	106
50～64歳	20	21	41
65～89歳	82	84	166
90歳以上	9	22	31
合計	182	210	392
平均(歳)	57.2	58.7	58.0
標準偏差(歳)	25.75	27.04	26.43

3. ICD-10に基づく精神科診断別受診者数

ICD-10/F	人	%
F 0 症状を含む器質性精神障害	152	40.0
F 1 精神作用物質使用による精神および行動の障害	7	1.8
F 2 統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	12	3.2
F 3 気分障害	49	12.9
F 4 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	105	27.6
F 5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	15	3.9
F 6 成人のパーソナリティおよび行動の障害	2	0.5
F 7 知的障害	11	2.9
F 8 心理的発達の障害	7	1.8
F 9 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害	6	1.6
G 4 てんかん	13	3.4
特に異常所見なし	1	0.3
小計	380	100.0

その他の診断

睡眠覚醒リズム障害	1
正常圧水頭症	3
月経前症候群	2
資格のための健康診断	6
小計	12
合計	392

4. 住所別受診者数

	人	%	令和2年人口	人口1万人対	
五島市	旧福江市内	224	57.1	21885	102.4
	富江町	35	8.9	4165	84.0
	岐宿町	33	8.4	2947	112.0
	三井楽町	42	10.7	2269	185.1
	奈留町	28	7.1	1950	143.6
	玉之浦町	21	5.4	1175	178.7
新上五島町	3	0.8	(国勢調査)		
長崎市	1	0.3			
長崎県外	5	1.3			
合計	392	100.0			
*五島市合計	383	97.7	34391	111.4	

5. 初診時入所施設別受診者数

	人	%
なし	309	78.8
院内入院中*	67	17.1
老人グループホーム	7	1.8
有料老人ホーム	5	1.3
特別養護老人ホーム	3	0.8
支援ハウス	1	0.3
合計	392	100.0
*「院内入院中」の科別内訳		
	人	%
院内内科	43	64.2
院内整形外科	16	23.9
院内外科	4	6.0
院内小児科	2	3.0
院内泌尿器科	2	3.0
合計	67	100.0

7. 小・中・高校生別受診者数

	学年	男性(人)	女性(人)	合計(人)
小学校	5	1		1
	1	1		1
中学校	2			0
	3		1	1
高等学校	1	8	8	16
	2	6	7	13
	3	5	1	6
合計		21	17	38

6. 紹介経路別受診者数

	人	%
紹介なし	167	42.6
院内*	105	26.8
五島内開業医	47	12.0
五島内公立病院	15	3.8
上五島病院精神科	1	0.3
長崎県内の公立の精神科病院	2	0.5
長崎県内の民間の精神科病院	20	5.1
県外の病院	14	3.6
特別養護老人ホーム	3	0.8
養護老人ホーム	1	0.3
老人グループホーム	2	0.5
サポートセンター	1	0.3
相談支援員	1	0.3
ケアマネジャー	3	0.8
福祉事務所	5	1.3
包括支援センター	1	0.3
五島保健所	3	0.8
民生委員	1	0.3
合計	392	100.0
* 院内からの紹介内訳		
	人	%
内科	62	59.0
整形外科	16	15.2
小児科	9	8.6
救急外来	7	6.7
外科	5	4.8
産婦人科	2	1.9
泌尿器科	2	1.9
総合診療科	1	1.0
物忘れ外来	1	1.0
合計	105	100.0

令和3年度診療業務実績

1. 検査等件数実績

区分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
放 射 線	C	T	1	562	629	609	704	648	569	552	569	590	609	562	496	7,099	
			2	494	452	582	560	485	574	655	550	456	478	492	590	6,368	
			3	654	556	676	701	565	627	644	652	665	587	582	584	7,493	
	M	R	I	1	259	246	243	295	241	226	261	241	260	249	222	198	2,941
				2	182	154	250	209	200	206	253	223	238	192	189	281	2,577
				3	241	209	281	241	236	214	102	0	71	259	238	269	2,361
	心	カ	テ	1	14	11	20	23	12	12	8	8	13	14	16	11	162
				2	16	3	4	23	19	12	13	10	11	6	10	15	142
				3	11	11	25	23	19	11	20	18	20	26	12	25	221
手 術	外	科	1	13	22	25	16	17	14	15	14	24	19	14	8	201	
			2	10	13	20	15	20	18	14	15	19	21	10	16	191	
			3	25	25	27	35	22	35	25	15	30	32	27	27	325	
			全麻	18	16	22	18	15	25	15	13	21	20	19	22	224	
			腰麻	1	2	0	2	1	2	0	0	1	10	2	0	21	
			局麻他	6	7	5	15	6	8	10	2	8	2	6	5	80	
			整 形 外 科	1	26	30	28	34	31	40	30	32	27	34	29	26	367
	2	29		30	36	38	23	37	44	26	28	23	24	40	378		
	3	33		26	39	31	33	38	36	40	33	34	43	39	425		
	全麻	11		6	9	8	9	8	10	11	7	6	11	11	107		
	腰麻	16		15	18	14	12	20	17	21	18	13	21	16	201		
	局麻他	6		5	12	9	12	10	9	8	8	15	11	12	117		
	産 婦 人 科	1		3	9	7	7	5	6	6	8	4	3	1	5	64	
		2	5	3	2	2	2	4	0	9	3	3	6	5	44		
		3	6	4	5	4	9	5	6	10	4	6	8	6	73		
		全麻	4	0	3	1	6	4	3	3	3	3	3	1	34		
		腰麻	2	4	2	3	3	1	3	5	0	3	5	5	36		
		局麻他	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3		
		眼 科	1	20	16	11	6	11	12	14	11	15	16	16	10	158	
	2		17	0	7	9	7	22	23	16	16	15	14	23	169		
	3		28	16	33	23	28	27	28	26	21	24	28	34	316		
	全麻		0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	4		
	腰麻		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	局麻他		28	15	33	22	28	27	28	26	20	24	27	34	312		
	耳 鼻 科		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		全麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		腰麻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		局麻他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		泌 尿 器 科	1	6	13	13	12	11	14	16	10	8	9	6	7	125	
	2		5	7	12	15	11	9	10	15	13	8	10	15	130		
	3		9	5	10	11	8	8	12	13	8	5	10	8	107		
	全麻		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2		
	腰麻		8	2	8	10	7	5	11	12	6	4	9	8	90		
	局麻他		0	3	2	1	0	3	1	1	2	1	1	0	15		
	計		1	68	90	84	76	75	86	81	75	78	81	66	56	916	
		2	66	53	77	79	63	90	91	81	79	70	64	99	912		
		3	101	76	114	104	100	113	107	104	96	101	116	114	1,246		
		全麻	34	23	34	28	31	37	28	27	32	29	34	34	371		
		腰麻	27	23	28	29	23	28	31	38	25	30	37	29	348		
		局麻他	40	30	52	47	46	48	48	39	39	42	45	51	527		
		ベ ー ス メ ー カ ー	1	6	4	3	3	2	3	1	2	0	5	4	4	37	
	2		3	0	3	0	2	1	6	1	2	2	2	0	22		
	3		6	1	2	2	4	2	7	4	3	3	0	2	36		
	内 視 鏡	1	141	186	218	224	204	258	247	228	207	149	156	104	2,322		
		2	141	115	162	217	167	172	235	236	215	69	206	189	2,124		
		3	247	86	280	279	63	252	289	283	250	193	124	179	2,525		
	分 娩	1	8	15	16	21	11	9	12	19	7	9	7	9	143		
2		7	12	8	6	11	14	9	9	8	4	8	12	108			
3		6	7	7	9	8	10	14	10	6	15	13	10	115			

2. 検査等件数実績

区分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
栄 養 指 導	入 院	1	47	22	40	34	18	14	44	29	24	22	19	16	329	
		2	19	22	30	31	13	16	29	29	22	19	30	20	280	
		3	27	27	38	27	18	15	23	24	34	27	22	22	304	
	外 来	1	64	43	34	39	34	42	21	48	38	39	35	26	463	
		2	33	20	36	42	37	38	45	30	43	35	47	42	448	
		3	38	30	37	49	37	34	37	44	41	49	46	66	508	
	計	1	111	65	74	73	52	56	65	77	62	61	54	42	792	
		2	52	42	66	73	50	54	74	59	65	54	77	62	728	
		3	65	57	75	76	55	49	60	68	75	76	68	88	812	
薬 剤 管 理 指 導			1	160	151	163	145	172	148	138	157	134	149	103	117	1,737
			2	175	145	211	207	171	171	181	156	167	151	149	190	2,074
			3	148	157	194	175	215	184	199	203	163	154	200	167	2,159
一般の件数(再掲) (325点) ハイリスクの件数(再掲) (380点)			3	52	61	52	54	95	84	76	73	56	67	88	46	804
96	96	142		121	120	100	123	130	107	87	112	121	1,355			
院 外 処 方 箋 発 行 率			1	92.5	91.6	91.3	91.6	90.7	92.1	92.5	91.7	92.0	91.5	91.9	92.7	91.8
			2	92.2	92.0	92.2	93.1	92.2	91.5	92.4	92.2	92.5	92.6	92.2	92.9	92.3
			3	93.1	91.2	92.1	92.3	91.6	93.7	92.1	93.0	92.7	92.0	91.1	92.4	92.3
検 査 件 数	入 院	1	23,224	26,441	26,496	28,039	29,726	24,972	23,634	23,501	26,652	29,318	26,327	24,726	313,056	
		2	26,430	24,517	29,189	28,559	27,912	27,374	29,817	26,548	24,532	26,335	22,950	28,192	322,355	
		3	28,963	30,497	28,914	33,100	32,422	30,766	29,583	32,228	32,780	33,006	29,879	30,282	372,420	
	外 来	1	72,771	75,278	75,428	81,719	76,262	74,605	78,927	73,520	76,682	70,721	67,949	66,560	890,422	
		2	68,622	62,354	69,646	76,173	73,348	72,161	79,809	71,766	78,398	62,605	69,683	84,149	868,714	
		3	80,147	66,583	83,346	83,028	72,582	76,820	79,917	77,860	83,285	78,359	74,206	85,160	941,293	
	計	1	95,995	101,719	101,924	109,758	105,988	99,577	102,561	97,021	103,334	100,039	94,276	91,286	1,203,478	
		2	95,052	86,871	98,835	104,732	101,260	99,535	109,626	98,314	102,930	88,940	92,633	112,341	1,191,069	
		3	109,110	97,080	112,260	116,128	105,004	107,586	109,500	110,088	116,065	111,365	104,085	115,442	1,313,713	
透 析	入 院	1	66	69	78	44	66	46	46	43	55	104	95	88	800	
		2	67	39	71	129	79	91	84	58	57	81	66	54	876	
		3	52	65	85	58	55	72	70	76	67	53	59	50	762	
	外 来	1	349	373	320	365	371	330	356	351	345	349	313	328	4,150	
		2	322	346	344	338	323	315	309	313	360	341	319	375	4,005	
		3	344	349	349	358	359	335	336	316	345	344	296	314	4,045	
	計	1	415	442	398	409	437	376	402	394	400	453	408	416	4,950	
		2	389	385	415	467	402	406	393	371	417	422	385	429	4,881	
		3	396	414	434	416	414	407	406	392	412	397	355	364	4,807	
リ ハ ビ リ 計 測 件 数			1	2	4	4	8	5	9	5	7	4	2	4	56	
			2	2	5	1	1	2	4	4	4	0	1	5	5	34
			3	3	2	6	5	4	3	3	5	5	7	3	8	54
リ ハ ビ リ 患 者 数	入 院	1	1,194	1,116	1,196	1,416	1,430	1,271	1,148	1,319	1,318	1,373	1,469	1,555	15,805	
		2	1,492	1,505	1,779	1,754	1,760	1,751	1,877	1,544	1,610	1,367	1,013	1,555	19,007	
		3	1,286	1,312	1,415	1,251	1,409	1,213	1,373	1,555	1,275	1,307	1,218	1,520	16,134	
	外 来	1	449	467	478	560	540	546	582	542	540	499	450	489	6,142	
		2	464	375	481	461	415	438	551	573	513	389	412	547	5,619	
		3	505	377	511	463	409	409	432	437	455	444	478	535	5,455	
	計	1	1,643	1,583	1,674	1,976	1,970	1,817	1,730	1,861	1,858	1,872	1,919	2,044	21,947	
		2	1,956	1,880	2,260	2,215	2,175	2,189	2,428	2,117	2,123	1,756	1,425	2,102	24,626	
		3	1,791	1,689	1,926	1,714	1,818	1,622	1,805	1,992	1,730	1,751	1,696	2,055	21,589	

リハビリ単位数

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ (245点)	1	481	440	428	685	477	281	276	357	364	505	482	511	5,287
	2	537	563	620	571	443	503	675	695	472	544	434	641	6,698
	3	453	392	421	525	661	540	378	326	280	321	369	678	5,344
(うち入院)	1	384	353	318	574	382	187	186	264	265	423	412	432	4,180
	2	453	480	470	447	350	409	540	605	374	491	362	544	5,525
	3	346	323	298	432	579	437	272	232	189	205	255	566	4,134
(うち外来)	1	97	87	110	111	95	94	90	93	99	82	70	79	1,107
	2	84	83	150	124	93	94	135	90	98	53	72	97	1,173
	3	107	69	123	93	82	103	106	94	91	116	114	112	1,210
運動器リハビリテーション料Ⅰ (185点)	1	3,056	2,559	2,799	3,163	2,912	3,206	3,207	3,579	3,677	3,387	3,368	3,563	38,476
	2	3,253	2,890	3,401	3,169	3,125	3,114	3,506	2,970	3,100	2,599	2,496	2,995	36,618
	3	2,596	2,626	3,085	2,527	2,598	2,643	2,997	2,920	3,078	2,657	2,649	3,172	33,548
(うち入院)	1	2,363	1,887	2,053	2,252	2,082	2,348	2,308	2,736	2,775	2,532	2,659	2,801	28,796
	2	2,543	2,326	2,698	2,460	2,486	2,463	2,689	2,064	2,311	1,960	1,824	2,073	27,897
	3	1,794	2,040	2,320	1,820	1,973	1,999	2,331	2,215	2,332	1,939	1,907	2,385	25,055
(うち外来)	1	693	672	746	911	830	858	899	843	902	855	709	762	9,680
	2	710	564	703	709	639	651	817	906	789	639	672	922	8,721
	3	802	586	765	707	625	644	666	705	746	718	742	787	8,493
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ (175点)	1	216	345	235	132	294	223	176	152	144	87	147	205	2,356
	2	203	199	176	175	184	119	180	108	224	96	56	120	1,840
	3	367	192	307	312	242	246	222	323	204	153	114	219	2,901
(うち入院)	1	216	345	235	132	294	223	176	152	144	87	147	205	2,356
	2	193	199	176	175	184	119	180	108	224	96	56	118	1,828
	3	365	192	307	304	242	246	222	323	204	153	114	219	2,891
(うち外来)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	12
	3	2	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	10
廃用症候群リハビリテーション料Ⅰ (180点)	1	135	274	538	594	667	381	347	237	165	206	202	126	3,872
	2	181	193	302	404	487	466	368	303	282	248	453	613	4,300
	3	512	571	529	506	498	427	662	548	520	550	558	387	6,268
(うち入院)	1	135	274	538	594	667	381	347	229	161	206	198	121	3,851
	2	173	187	294	402	487	466	368	303	282	248	453	613	4,276
	3	512	565	521	506	498	427	662	548	520	550	558	387	6,254
(うち外来)	1	0	0	0	0	0	0	0	8	4	0	4	5	21
	2	8	6	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	3	0	6	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
入 院 計	1	3,098	2,859	3,144	3,552	3,425	3,139	3,017	3,381	3,345	3,248	3,416	3,559	39,183
	2	3,362	3,192	3,638	3,484	3,507	3,457	3,777	3,080	3,191	2,795	2,695	3,348	39,526
	3	3,017	3,120	3,446	3,062	3,292	3,109	3,487	3,318	3,245	2,847	2,834	3,557	38,334
外 来 計	1	790	759	856	1,022	925	952	989	944	1,005	937	783	846	10,808
	2	812	653	861	835	732	745	952	996	887	692	744	1,021	9,930
	3	911	661	896	808	707	747	772	799	837	834	856	899	9,727
合 計	1	3,888	3,618	4,000	4,574	4,350	4,091	4,006	4,325	4,350	4,185	4,199	4,405	49,991
	2	4,174	3,845	4,499	4,319	4,239	4,202	4,729	4,076	4,078	3,487	3,439	4,369	49,456
	3	3,928	3,781	4,342	3,870	3,999	3,856	4,259	4,117	4,082	3,681	3,690	4,456	48,061
平 均 単 位 (総単位／患者数)	1	2.4	2.3	2.4	2.3	2.2	2.3	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2	2.2	2.3
	2	2.1	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	2.0	2.4	2.1	2.0
	3	2.2	2.2	2.3	2.3	2.2	2.4	2.4	2.1	2.4	2.1	2.2	2.2	2.2
早期リハビリテーション加算 (30点)	1	1619	1561	1803	1874	1863	1242	1386	1717	1671	1745	1805	1359	19645
	2	1702	1705	1775	1822	1711	1534	2009	1559	1783	1495	1605	2042	20742
	3	1988	1661	2043	2023	2142	1694	2104	1773	1866	1414	1545	2120	22373
初期リハビリテーション加算 (45点)	1	738	747	696	860	692	507	589	723	707	758	702	585	8304
	2	764	676	791	711	784	817	1040	652	803	742	739	1084	9603
	3	912	601	1050	963	988	710	896	785	716	613	713	934	9881
通 院 精 神 療 法 (算定件数)	1	937	946	885	1061	967	988	1120	932	1024	985	921	915	11681
	2	932	837	1007	1125	949	908	1071	965	1021	983	896	1092	11786
	3	1064	929	1035	1085	1082	972	985	1065	1068	1042	921	1012	12260
入 院 精 神 療 法 (算定件数)	1	100	96	114	112	107	112	116	127	155	173	145	148	1505
	2	152	142	190	144	164	129	152	158	148	131	122	131	1763
	3	92	99	81	88	100	88	89	81	85	77	76	53	1009

3. エコー件数

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	1	82	113	124	167	135	111	129	109	117	103	112	101	1,403
	2	93	84	117	115	93	99	141	105	126	169	94	107	1,343
	3	108	107	125	142	106	126	144	139	152	119	112	144	1,524
循環器科（心エコー）	1	94	134	120	151	115	113	128	121	124	128	112	100	1,440
	2	94	95	121	110	111	100	133	115	106	89	96	138	1,308
	3	146	117	129	152	135	127	122	130	124	143	133	172	1,630
人間ドック・健診	1	4	5	22	9	31	19	11	18	27	7	7	34	194
	2	0	0	0	16	19	17	17	20	6	0	23	16	134
	3	7	9	9	9	0	10	18	25	17	15	12	7	138
小児科	1	2	3	6	8	7	3	3	12	4	3	5	6	62
	2	7	6	4	2	5	7	8	5	3	7	5	5	64
	3	5	2	1	2	9	1	6	3	3	5	4	2	43
外科	1	17	23	16	21	28	29	30	29	19	26	12	4	254
	2	18	13	12	11	15	17	25	9	18	35	30	21	224
	3	16	21	24	29	20	16	29	35	31	42	22	25	310
産婦人科	1	6	9	12	17	18	12	16	8	10	15	16	5	144
	2	11	9	27	29	17	18	13	12	12	26	18	19	211
	3	15	26	24	18	16	15	17	14	17	17	11	33	223
妊婦健診	1	107	129	124	110	93	87	98	81	72	78	71	102	1,152
	2	121	137	145	158	163	160	126	118	121	113	119	145	1,626
	3	123	91	133	158	176	169	158	150	171	201	165	180	1,875
耳鼻咽喉科	1	20	27	18	18	19	25	24	20	15	20	15	15	236
	2	15	8	19	16	19	19	18	18	13	17	15	17	194
	3	15	9	14	15	14	16	11	13	11	21	15	15	169
泌尿器科	1	47	64	56	81	85	66	66	39	40	43	54	29	670
	2	55	40	58	57	54	48	67	62	63	64	76	86	730
	3	82	49	64	67	55	54	60	51	85	83	65	76	791
計	1	379	507	498	582	531	465	505	437	428	423	404	396	5,555
	2	414	392	503	514	496	485	548	464	468	520	476	554	5,834
	3	517	431	523	592	531	534	565	560	611	646	539	654	6,703

4. 加算等件数

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
医療安全対策加算	1	271	304	279	324	330	263	260	288	275	285	244	210	3,333
	2	240	223	268	242	249	294	311	265	262	262	223	289	3,128
	3	264	257	318	290	316	299	293	278	253	300	262	258	3,388
医師事務作業補助体制加算	1	263	296	272	316	320	251	250	277	263	279	231	206	3,224
	2	247	215	254	236	242	294	302	261	257	256	226	291	3,081
	3	263	253	313	257	313	297	296	278	257	303	270	265	3,365
検体検査管理加算 2	1	316	334	323	347	395	314	303	318	322	320	324	2	554
	2	0	261	297	263	280	308	334	300	272	260	266	292	3,133
	3	255	285	264	281	308	278	272	279	272	269	297	274	3,334
検体検査管理加算 1	1	2,583	2,656	2,625	2,878	2,754	2,646	2,751	2,657	2,780	2,608	2,449	2,676	32,063
	2	2,481	2,054	2,255	2,437	2,322	2,297	2,553	2,319	2,593	2,033	2,229	2,664	28,237
	3	2,521	2,198	2,758	2,663	2,384	2,546	2,650	2,559	2,795	2,672	2,585	2,967	31,298
外来迅速検体検査加算	1	10,047	9,918	10,659	12,098	11,516	11,152	11,873	10,765	11,599	10,516	9,840	7,080	127,063
	2	8,800	7,861	8,823	9,252	9,115	9,038	7,231	6,648	7,074	5,689	6,068	7,532	93,131
	3	7,249	5,985	6,550	6,810	6,560	6,682	6,742	6,481	6,996	6,535	6,215	7,382	80,187
画像診断管理加算 2	1	669	719	707	773	760	681	676	681	695	659	616	561	8,197
	2	543	504	680	650	584	667	737	631	586	548	554	715	7,399
	3	725	613	764	769	668	704	614	549	604	718	680	695	8,103
急性期看護補助体制加算 (25対1)	1	2,147	2,367	2,284	2,369	2,756	2,194	1,780	2,331	2,241	2,447	2,135	1,855	26,906
	2	1,981	1,990	2,173	1,989	1,904	2,201	2,421	2,183	1,949	2,030	1,702	2,317	24,840
	3	2,192	2,237	2,411	2,474	2,322	2,392	2,390	2,279	2,257	2,244	2,157	2,246	27,601
看護補助加算 1 (精神科)	1	788	759	750	826	975	881	861	903	935	984	887	971	10,520
	2	954	917	989	949	921	811	998	930	843	899	706	837	10,754
	3	815	953	880	907	885	950	921	794	700	614	672	709	9,800
乳幼児救急医療管理加算 乳幼児加算 (6歳未満)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳幼児救急医療管理加算 小児加算 (6歳～15歳)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハイリスク妊娠管理加算	1	20	0	10	1	0	0	3	0	0	1	0	1	36
	2	20	0	0	0	5	0	0	0	1	0	0	0	26
	3	6	7	23	8	9	0	11	34	1	0	0	7	106
感染防止対策加算 2	1	271	304	279	324	330	263	260	288	275	285	244	210	3,333
	2	240	223	268	242	249	294	311	265	262	262	223	289	3,128
	3	264	257	318	290	316	299	293	278	253	300	262	258	3,388
透析液水質確保加算	1	414	441	392	397	433	373	400	392	395	446	386	405	4,874
	2	374	374	404	449	391	393	391	366	416	421	382	428	4,789
	3	394	413	435	416	411	407	405	391	411	389	355	364	4,791

各診療科別年間手術症例数

対象期間：令和3年1月1日～令和3年12月31日

内科手術件数 593件

分 類	手 術 名	件数
胸部	食道	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術
		食道ステント留置術
		食道狭窄拡張術
心・脈管	心、心膜、肺動静脈、冠血管、動脈、静脈、気管等	経皮的冠動脈形成術
		静脈形成術（胸腔内静脈）
		経皮的冠動脈ステント留置術
		体外ペースメーカー
		ペースメーカー移植術
		ペースメーカー交換術
		大動脈バルーンパンピング法（IABP 法）
		経皮的冠動脈血栓吸引術
		植込型心電図記録針移植・摘出術
		血管塞栓術
		小腸結腸内視鏡的止血術
		植込型心電図記録計摘出術
		四肢の血管拡張術・血栓除去術
		経皮的シャント拡張術・血栓除去術
腹部	気管支、胃、十二指腸、大腸、腎臓	気管支瘻孔閉鎖術
		内視鏡的大腸ポリープ切除
		内視鏡的大腸粘膜切除
		内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術
		内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術
		内視鏡的消化管止血術
		内視鏡的食道及び胃内異物摘出術
		経皮的腎（腎盂）瘻造設術
		腸重積症整復術
	胆嚢、胆道、肝	内視鏡的乳頭切開術
		内視鏡的胆道ステント留置術
		内視鏡的胆道結石除去術
		経皮的胆管ドレナージ術
		肝内胆管外瘻造設術（経皮経肝による）
		内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術 ENBD
		経皮的肝膿瘍ドレナージ術
		経皮経肝胆管ステント挿入術
		肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
		内視鏡的膵管ステント留置術
		腹腔鏡下腸管癒着剥離術
	空腸、回腸、盲腸、虫垂、結腸	下部消化管ステント留置術
		経皮的膿胸ドレナージ術
	小 計	

外科手術件数 272件

分 類		手 術 名	件数	
胸部	乳腺	乳腺悪性腫瘍手術	10件	
		乳腺腫瘍摘出術	1 件	
心・脈管	胸	胸腔鏡下肺切除術	8 件	
		胸腔鏡下試験切除術	1 件	
		胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術	9 件	
		胸腔鏡下膿胸腔搔爬術	1 件	
	動脈	抗悪性腫瘍剤動脈内持続注入用埋込型カテーテル設置	32件	
	静脈	中心静脈栄養用埋込型カテーテル設置	6 件	
	リンパ管、リンパ節	リンパ節摘出術	8 件	
腹部	気管	気管切開術	2 件	
	腹壁、ヘルニア	ヘルニア手術	44件	
	腹膜	急性汎発性腹膜炎手術	1 件	
	胃、十二指腸	胃腸吻合術（ブラウン吻合含む）	1 件	
		腹腔鏡下胃・十二指腸潰瘍穿孔縫合術	1 件	
		胃切除術	5 件	
		胃全摘術（悪性腫瘍）	1 件	
		胃瘻造設術	4 件	
	胆嚢、胆道 胆管	胆嚢摘出術	14件	
		腹腔鏡下胆嚢摘出術	33件	
		腸重積症整復	1 件	
		腸管癒着症手術	2 件	
		胆嚢外瘻造設術	8 件	
		腹腔鏡下胆管切開結石摘出	2 件	
	空腸、回腸、 盲腸、虫垂、 結腸、その他	小腸切除術	6 件	
		虫垂切除術	15件	
		結腸切除術	14件	
		腹壁膿瘍切開術	1 件	
		腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	12件	
		人工肛門造設術	4 件	
		人工肛門閉鎖術	2 件	
		直腸	直腸切除・切断術	4 件
		肛門、その周辺	肛門周囲膿瘍切開術	3 件
肛門形成手術			2 件	
痔核手術	10件			
	痔瘻根治手術	2 件		
	肝	肝切除術	2 件	
小 計			272件	

産婦人科手術件数 103件

（年間分娩件数 101件）

分 類		手 術 名	件数
性器	子宮 子宮附属器 外陰、会陰	子宮全摘術	18件
		子宮脱手術	2件
		子宮頸管ポリープ切除術	12件
		子宮附属器癒着剥離術(両側、腹腔鏡)	1件
		子宮頸管縫縮術(シロッカー法)	1件
		腹腔鏡下腔式子宮全摘術	1件
		卵管結紮術	5件
		子宮附属器腫瘍摘出術	22件
		吸引娩出術	8件
その他	産科手術	帝王切開術	26件
		頸管裂創縫合術	2件
		女子外性器腫瘍摘出術	1件
		胎盤用手剥離術	1件
		卵巣部分切除術(開腹)	2件
		腔壁形成手術	1件
小 計			103件

眼科手術件数 464件

分 類		手 術 名	件数
眼	結膜	翼状片手術	12件
		結膜縫合術	2 件
		結膜結石除去術	16件
	眼 瞼	マイボーム腺梗塞摘出術	7 件
		霰粒腫摘出術	1 件
		麦粒腫切開術	1 件
		眼瞼内反症手術	5 件
	ぶどう膜	涙管チューブ挿入術(その他のもの)	1 件
		虹彩内異物除去術	1 件
		虹彩光凝固術	18件
	角膜、強膜	強角膜瘻孔閉鎖術	1 件
		角膜、強膜異物除去術	6 件
	眼房、網膜	網膜光凝固術	41件
	水晶体、硝子体	硝子体茎顕微鏡下離断術	25件
		水晶体再建術	270件
硝子体注入・吸引術		1 件	
硝子体切除術		4 件	
後発白内障手術		52件	
小 計			464件

各診療科別年間手術症例数

対象期間：令和3年1月1日～令和3年12月31日

泌尿器科手術件数 202件

分 類	手 術 名	件数
尿路系・副腎	尿管、精巣	経尿道的尿管ステント留置術
	その他	経尿道的尿管ステント拔去術
		経尿道的尿路結石摘出術
		経尿道的前立腺核出術
		腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術
		経皮的腎（腎盂）瘻造設術
		経皮的腎（腎盂）瘻造設術
		尿道異物摘出術
		精巣摘出術
		包茎手術（環状切除術）
	膀胱	膀胱異物摘出術（経尿道的手術）
		膀胱瘻造設術
	膀胱	膀胱内凝血除去術
		膀胱悪性腫瘍手術
心、脈管	動脈	内シャント設置術
その他		陰嚢水腫手術
小 計		202件

耳鼻いんこう科手術件数 22件

分 類	手 術 名	件数
耳鼻咽喉	外耳	外耳道異物除去術
	中耳	鼓膜チューブ挿入術
	鼻	鼻腔粘膜焼灼術
		鼻内異物摘出術
	咽頭、扁桃	咽頭異物摘出術
	その他	唾石摘出術（表在性のもの）
小 計		22件

その他

分 類	手 術 名	件数
	創傷処理	331件
	皮膚切開術	70件
	皮膚、皮下腫瘍摘出術	19件
	その他	5件
小 計		425件

整形外科手術件数 491件

分	類	手 術 名	件数	
筋骨格系 ・四肢・体幹	筋膜、筋、 腱、腱鞘	腱鞘切開術	12件	
		筋膜切開術	1 件	
		アキレス腱断裂手術	1 件	
		骨折経皮的鋼線刺入固定術	6 件	
	四肢骨	骨折観血の手術	160件	
		骨折非観血の整復術	34件	
		超音波骨折治療法	8 件	
		骨内異物（挿入物）除去術	33件	
		手根管開放手術	16件	
		観血の整復固定術	4 件	
		手、足	関節脱臼非観血の整復術	37件
			関節脱臼観血の整復術	1 件
	関節内異物		5 件	
	四肢関節、 靱帯	関節鏡下半月板切除術	11件	
		関節鏡下半月板縫合術	1 件	
		関節鏡下関節滑膜切除術	2 件	
		関節内骨折観血の手術	17件	
		人工骨頭挿入術	39件	
		人工関節置換術	57件	
		靱帯断裂縫合術	2 件	
		関節形成手術（肘）	1 件	
		腱縫合術	3 件	
		四肢切断、 離断、再接合	四肢切断術	5 件
	断端形成術		1 件	
	切断四肢再接合術（手・指）		1 件	
	顎関節脱臼非観血の整復術		1 件	
	その他	骨移植術	6 件	
		神経移行術	5 件	
神経系	抹消神経、 交感神経	直達牽引	8 件	
		一時的創外固定骨折治療術	12件	
		神経剥離術（その他のもの）	1 件	
小 計			491件	

救急患者搬送一覧

令和3年4月1日～令和4年3月31日

番号	月 日	病 名	移 送 先	移送方法
1	4月2日	心不全	長崎大学病院	ドクターヘリ
2	4月9日	急性硬膜下血腫	長崎医療センター	ドクターヘリ
3	4月15日	心不全	長崎大学病院	ドクターヘリ
4	4月16日	十二指腸穿孔、穿孔性腹膜炎	長崎医療センター	ドクターヘリ
5	4月19日	硬膜下血腫	長崎医療センター	県 防 災 ヘ リ
6	4月19日	腸骨骨折、骨盤内血腫	長崎医療センター	ドクターヘリ
7	4月27日	クモ膜下出血	長崎医療センター	ドクターヘリ
8	5月19日	クモ膜下出血	長崎医療センター	ドクターヘリ
9	6月7日	髄膜炎	長崎大学病院	ドクターヘリ
10	6月14日	腰椎破裂骨折	長崎大学病院	ドクターヘリ
11	6月19日	急性期脳梗塞	長崎医療センター	ドクターヘリ
12	6月23日	うっ血性心不全	長崎大学病院	ドクターヘリ
13	6月24日	脳梗塞	長崎医療センター	ドクターヘリ
14	6月24日	右慢性硬膜下血腫	長崎医療センター	海 自 ヘ リ
15	6月25日	急性心不全	長崎みなとメディカルセンター	ドクターヘリ
16	7月2日	急性下壁心筋梗塞	長崎医療センター	海 自 ヘ リ
17	7月14日	脳梗塞	長崎医療センター	ドクターヘリ
18	7月18日	硬膜下血腫	長崎医療センター	県 防 災 ヘ リ
19	7月21日	辺縁系脳炎	長崎医療センター	ドクターヘリ
20	7月23日	脳出血	長崎医療センター	海 自 ヘ リ
21	7月27日	脳梗塞	長崎医療センター	ドクターヘリ
22	8月3日	超急性期脳梗塞	長崎医療センター	ドクターヘリ
23	8月6日	急性期脳梗塞	長崎医療センター	ドクターヘリ
24	8月9日	左脛骨開放骨折	長崎大学病院	ドクターヘリ
25	8月15日	脳出血	長崎大学病院	海 保 船 舶
26	8月17日	多発髄膜腫	長崎医療センター	県 防 災 ヘ リ
27	8月27日	悪性気道狭窄	長崎大学病院	ドクターヘリ
28	9月9日	急性期脳梗塞	長崎医療センター	海 保 ヘ リ
29	9月11日	急性下肢動脈閉塞	長崎医療センター	海 保 ヘ リ
30	9月16日	高位破水、切迫早産	長崎医療センター	県 防 災 ヘ リ
31	9月19日	大動脈解離	長崎大学病院	ドクターヘリ
32	9月25日	穿孔性腹膜炎	長崎医療センター	ドクターヘリ
33	10月2日	外傷性脾損傷	長崎大学病院	ドクターヘリ
34	10月8日	大動脈解離	長崎大学病院	ドクターヘリ
35	10月8日	右頸部内頸動脈狭窄	長崎医療センター	ドクターヘリ
36	10月17日	穿孔性腹膜炎	長崎医療センター	海 保 ヘ リ
37	10月22日	多臓器不全	長崎医療センター	海 自 ヘ リ
38	10月28日	大腿骨頸部骨折	長崎大学病院	ドクターヘリ
39	11月4日	脳梗塞	長崎医療センター	海 自 ヘ リ
40	11月9日	急性前骨髄救性白血病疑い	長崎医療センター	ドクターヘリ
41	11月15日	特発性食道破裂	長崎医療センター	海 自 ヘ リ
42	11月19日	椎体骨折	長崎大学病院	ドクターヘリ
43	11月24日	急性心不全	長崎みなとメディカルセンター	ドクターヘリ
44	11月26日	脳出血	長崎医療センター	ドクターヘリ
45	12月4日	心筋梗塞	長崎みなとメディカルセンター	ドクターヘリ
46	12月7日	脳梗塞	長崎医療センター	ドクターヘリ
47	12月10日	加重型妊娠高血圧腎症、胎児機能不全	長崎大学病院	ドクターヘリ

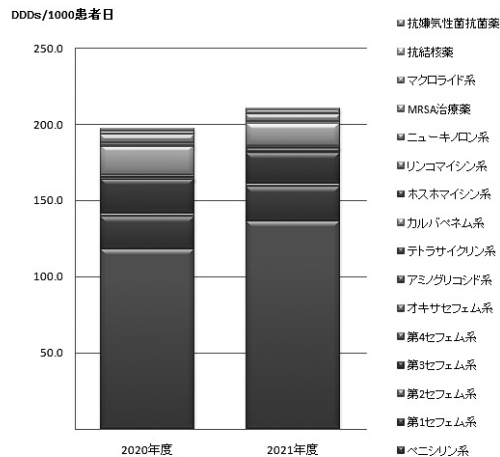
番号	月 日	病 名	移 送 先	移送方法
48	12月15日	大動脈瘤破裂	長崎大学病院	ドク タ ー ヘ リ
49	12月27日	急性冠症候群	長崎医療センター	ドク タ ー ヘ リ
50	1 月 1 日	穿孔性腹膜炎	長崎医療センター	海 自 ヘ リ
51	1 月 5 日	脳梗塞	長崎医療センター	ドク タ ー ヘ リ
52	1 月10日	脳出血	長崎医療センター	ドク タ ー ヘ リ
53	1 月19日	魚骨刺入	長崎大学病院	ドク タ ー ヘ リ
54	1 月27日	急性期脳梗塞	長崎医療センター	海 自 ヘ リ
55	1 月28日	感染性心内膜炎、僧帽弁逆流症	長崎大学病院	ドク タ ー ヘ リ
56	2 月17日	急性期脳梗塞	長崎医療センター	ドク タ ー ヘ リ
57	3 月 4 日	急性期脳梗塞	長崎医療センター	海 自 ヘ リ
58	3 月17日	感染性大動脈瘤	長崎大学病院	ドク タ ー ヘ リ
59	3 月22日	大動脈弁逸脱	長崎みなとメディカルセンター	ドク タ ー ヘ リ
60	3 月28日	脳出血	長崎医療センター	ドク タ ー ヘ リ
61	3 月29日	扁桃周囲膿瘍	長崎医療センター	ドク タ ー ヘ リ

2021年度 抗菌薬（注射薬）及び消毒薬の年間使用概況

1. 全入院患者での使用状況について

2021年度（2021年4月～2022年3月）における抗菌薬使用量を1000患者日あたりの抗菌薬使用密度（antimicrobial use density:AUD）で集計し、抗菌薬の使用状況について前年度との比較を行った。

病棟患者 抗菌薬系統別使用量（AUD）



薬剤別AUD (DDD/1000患者日)

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ABPC/STB (スルバシリン)	87.2	103.4	+16.2
②	PIPC/TAZ (タゾピペ)	26.1	26.3	+0.2
③	CEZ (セファゾリン)	21.1	22.5	+1.4
④	CTRX (セフトリアキソン)	20.4	17.7	-2.7
⑤	MEPM (メロベナム)	18.3	14.3	-4.0

抗菌薬系統別AUD (DDD/1000患者日)

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	118.1	136.5	+18.4
②	第1セフェム系	21.1	22.5	+1.4
③	第3セフェム系	22.5	20.1	-2.4
④	カルバペネム系	19.6	15.1	-4.5
⑤	ニューキノロン系	5.7	5.0	-0.7

抗菌薬系統別使用比率 (%AUD)

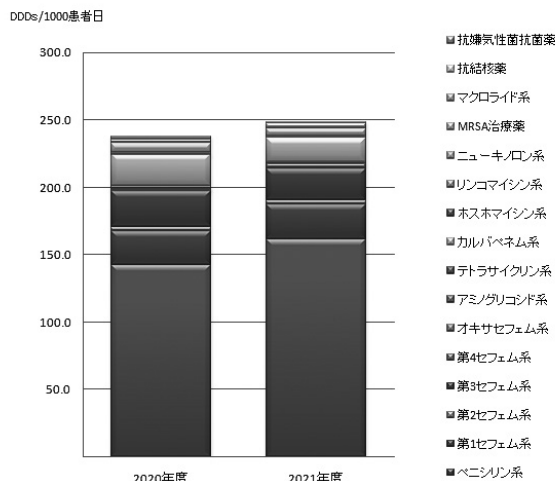
	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	59.9%	64.8%	+4.9%
②	第1セフェム系	10.7%	10.7%	-0.0%
③	第3セフェム系	11.4%	9.5%	-1.9%
④	カルバペネム系	9.9%	7.2%	-2.8%
⑤	ニューキノロン系	2.9%	2.4%	-0.5%

全入院患者の年間 AUD は210.6（前年比+18.5）と増加していた。薬剤別 AUD ではスルバシリン注（前年比+16.2）が最も多く、次いでタゾピペ、セファゾリン注の順となった。抗菌薬系統別 AUD ではペニシリン系（前年比+18.4）が最も多く、次いで第1世代セフェム系、第3世代セフェム系の順となった。昨年度と比較し、ペニシリン系の使用量が伸び、その他の使用量は横ばいまたは減少していた。使用比率はペニシリン系64.8%（前年比+4.9%）、第1世代セフェム系10.7%、第3世代セフェム系9.5%となった。

2. 一般病棟患者での使用状況について

精神科患者を除く一般病棟患者の年間 AUD は248.5（前年比+11.2）にした。薬剤別 AUD や抗菌薬系統別 AUD、使用比率については全入院患者と同様の傾向であったが、AUD の値では全入院患者の場合よりも値が大きくなった。これは精神科患者では抗菌薬の使用頻度が少なく、一般病棟患者では抗菌薬の使用頻度が多いことを反映していると考えられた。

一般病棟患者 抗菌薬系統別使用量（AUD）



薬剤別AUD (DDD/1000患者日)

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ABPC/STB (スルバシリン)	104.6	122.1	+17.5
②	PIPC/TAZ (ゾシリン)	31.5	31.0	-0.5
③	CEZ (セファゾリン)	25.6	26.5	+1.0
④	CTRX (セフトリアキソン)	24.5	20.6	-3.9
⑤	MEPM (メロベナム)	22.1	17.0	-5.2

抗菌薬系統別AUD (DDD/1000患者日)

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	142.2	161.2	+19.0
②	第1セフェム系	25.6	26.5	+1.0
③	第3セフェム系	27.0	23.5	-3.6
④	カルバペネム系	23.7	17.9	-5.8
⑤	第2セフェム系	2.7	2.7	-0.0

抗菌薬系統別使用比率 (%AUD)

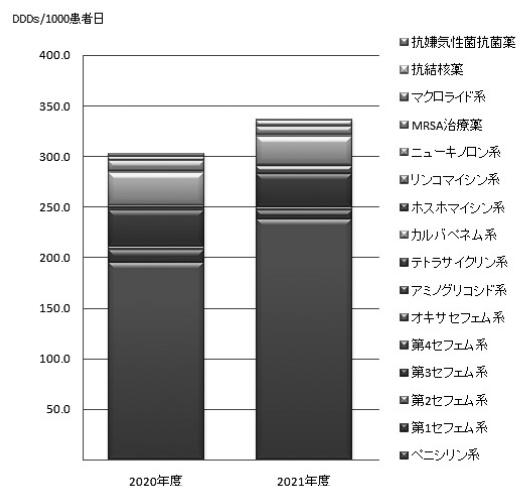
	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	59.9%	64.8%	+4.9%
②	第1セフェム系	10.8%	10.7%	-0.1%
③	第3セフェム系	11.4%	9.4%	-1.9%
④	カルバペネム系	10.0%	7.2%	-2.8%
⑤	第2セフェム系	1.1%	1.1%	-0.1%

3. 各診療科（入院患者）の使用状況について

A. 内科（入院患者）

内科の年間 AUD は336.8（前年比+34.2）と前年度から増加した。薬剤別 AUD ではスルバシリン注が189.8（前年比+43.3）と昨年度同様最も高く、次いでタゾピベ注、セフトリアキソン注の順となった。抗菌薬系統別 AUD ではペニシリン系（前年比+42.8）が最も多く、次いで第3世代セフェム系、カルバペネム系の順となった。使用比率はペニシリン系70.5%（前年比+6.2%）、第3世代セフェム系9.9%、カルバペネム系8.2%となった。

内科病棟患者 抗菌薬系統別使用量（AUD）



薬剤別AUD（DDD/1000患者日）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ABPC/STB（スルバシリン）	146.5	189.8	+43.3
②	PIPC/TAZ（ジシリン）	44.4	41.1	-3.4
③	CTRX（セフトリアキソン）	34.0	29.1	-4.9
④	MEPM（メロペン）	30.3	26.0	-4.3
⑤	CEZ（セファゾリン）	12.7	9.4	-3.3

抗菌薬系統別AUD（DDD/1000患者日）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	194.7	237.4	+42.8
②	第3セフェム系	36.2	33.3	-2.9
③	カルバペネム系	32.7	27.6	-5.1
④	第1セフェム系	12.7	9.4	-3.3
⑤	第4セフェム系	1.3	7.3	+5.9

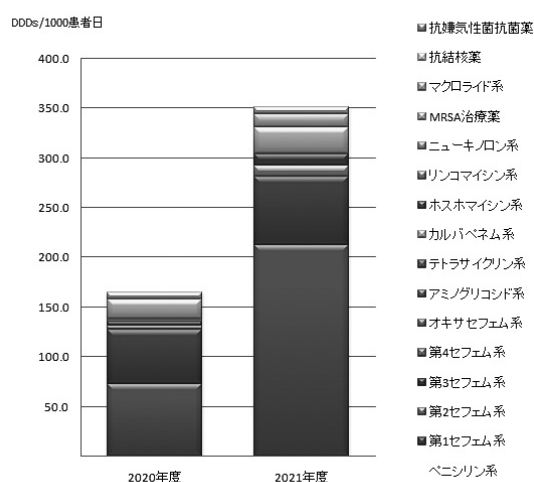
抗菌薬系統別使用比率（%AUD）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	64.3%	70.5%	+6.2%
②	第3セフェム系	12.0%	9.9%	-2.1%
③	カルバペネム系	10.8%	8.2%	-2.6%
④	第1セフェム系	4.2%	2.8%	-1.4%
⑤	ニューキノロン系	3.5%	2.5%	-1.0%

B. 外科（入院患者）

外科の年間 AUD は351.1（前年比+186.4）に増加した。薬剤別 AUD ではスルバシリン注が130.0（前年比+75.3）で最も多く、次いでタゾピベ注、メロペネム注の順となった。抗菌薬系統別 AUD ではペニシリン系（前年比+139.3）が最も多く、次いで第1世代セフェム系、カルバペネム系の順となった。使用比率はペニシリン系60.5%（前年比+16.1%）、第1世代セフェム系13.6%、カルバペネム系7.5%となった。

外科病棟患者 抗菌薬系統別使用量（AUD）



薬剤別AUD（DDD/1000患者日）

	抗菌薬	2019年度	2020年度	前年比
①	ABPC/STB（スルバシリン）	54.7	130.0	+75.3
②	PIPC/TAZ（ジシリン）	18.4	82.5	+64.0
③	CEZ（セファゾリン）	54.6	68.6	+14.0
④	MEPM（メロペン）	19.9	26.2	+6.3
⑤	CPFX（シプロキサ）		11.9	+11.9

抗菌薬系統別AUD（DDD/1000患者日）

	抗菌薬	2019年度	2020年度	前年比
①	ペニシリン系	73.2	212.5	+139.3
②	第1セフェム系	54.6	68.6	+14.0
③	カルバペネム系	19.9	26.2	+6.3
④	ニューキノロン系		13.4	+13.4
⑤	第3セフェム系	4.7	12.0	+7.3

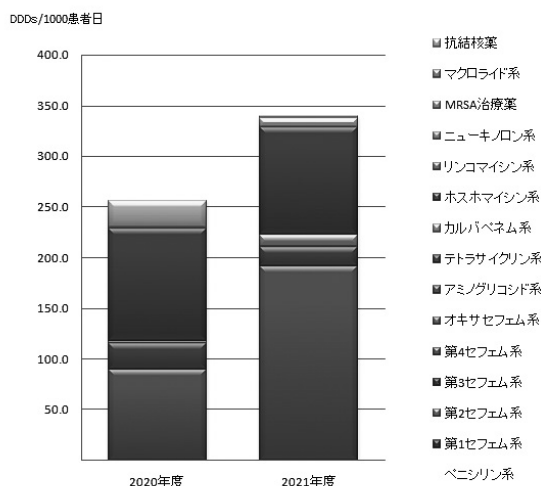
抗菌薬系統別使用比率（%AUD）

	抗菌薬	2019年度	2020年度	前年比
①	ペニシリン系	44.4%	60.5%	+16.1%
②	第1セフェム系	33.1%	19.5%	-13.6%
③	カルバペネム系	12.1%	7.5%	-4.6%
④	ニューキノロン系	0.0%	3.8%	+3.8%
⑤	第3セフェム系	2.9%	3.4%	+0.6%

C. 泌尿器科（入院患者）

泌尿器科の年間 AUD は339.2（前年比+101.7）に増加した。薬剤別 AUD ではピクシリン注が121.3（前年比+121.3）で最も多く、次いでセフトリアキソン注、タゾピペ注の順となった。抗菌薬系統別 AUD ではペニシリン系（前年比+101.7）が最も多く、次いで第3セフェム系、第1セフェム系の順となった。使用比率はペニシリン系56.5%（前年比+21.3%）、第3世代セフェム系31.3%、第1世代セフェム系5.7%となった。

泌尿器科病棟患者 抗菌薬系統別使用量（AUD）



薬剤別AUD (DDDs/1000患者日)

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ABPC (ピクシリン)		121.3	+121.3
②	CTRX (セフトリアキソン)	110.7	106.3	-4.3
③	PIPC/T AZ (ゾシン)	76.1	68.6	-7.5
④	CTX(クラフォラン)	24.4	21.0	-3.4
⑤	CEZ (セファゾリン)	25.7	19.4	-6.3

抗菌薬系統別AUD (DDDs/1000患者日)

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	89.8	191.5	+101.7
②	第3セフェム系	110.7	106.3	-4.3
③	第1セフェム系	25.7	19.4	-6.3
④	第2セフェム系	2.7	11.2	+8.5
⑤	カルバペネム系	26.2	9.1	-17.1

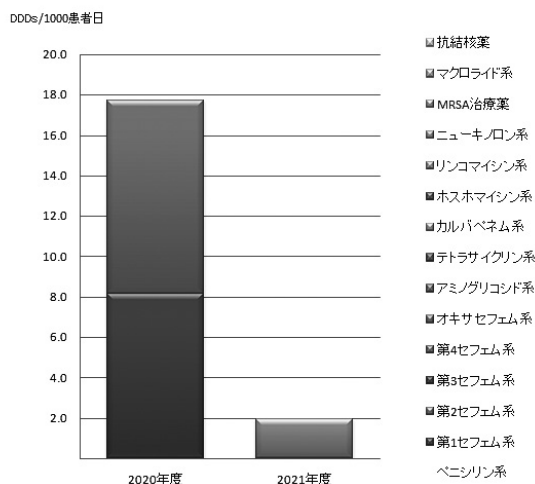
抗菌薬系統別使用比率 (%AUD)

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	35.2%	56.5%	+21.3%
②	第3セフェム系	43.3%	31.3%	-12.0%
③	第1セフェム系	10.1%	5.7%	-4.3%
④	第2セフェム系	1.0%	3.3%	+2.3%
⑤	カルバペネム系	10.3%	2.7%	-7.6%

D. 眼科（入院患者）

眼科は今年度、抗菌薬注射の使用が1件あり、年間 AUD は1.9となった。セフメタゾール注が使用され、AUD は1.9となった。使用比率は第2セフェム系が100%となった。

眼科病棟患者 抗菌薬系統別使用量（AUD）



薬剤別AUD (DDDs/1000患者日)

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	CMZ(セフメタゾール)		1.9	+1.9
②	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
③	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
④	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
⑤	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A

抗菌薬系統別AUD (DDDs/1000患者日)

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	第2セフェム系		1.9	+1.9
②	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
③	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
④	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
⑤	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A

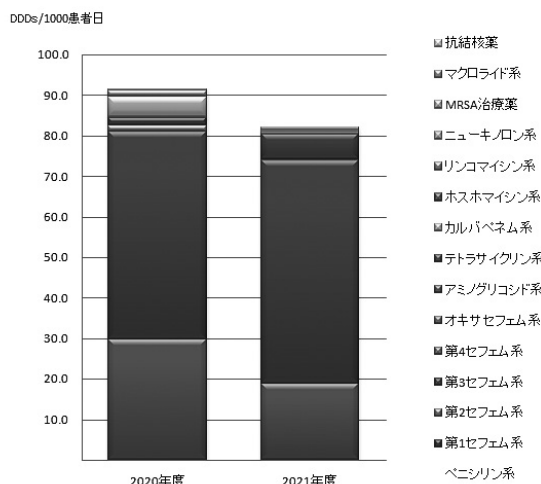
抗菌薬系統別使用比率 (%AUD)

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	第2セフェム系	0.0%	100.0%	+100.0%
②	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
③	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
④	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
⑤	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A

E. 整形外科（入院患者）

整形外科の年間 AUD は82.1（前年比-9.4）と減少した。薬剤別 AUD ではセファゾリン注が55.3（前年比+3.9）で最も多く、次いでスルバシリン注、セフトリアキソン注の順となった。抗菌薬系統別 AUD では第1世代セフェム系が最も多く、次いでペニシリン系、第3セフェム系の順となった。使用比率は第1世代セフェム系67.4%（前年比+11.2%）、ペニシリン系が22.8%、第3セフェム系が7.8%となった。

整形外科病棟患者 抗菌薬系統別使用量（AUD）



薬剤別AUD（DDD/1000患者日）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	CEZ（セファゾリン）	51.4	55.3	+3.9
②	ABPC/STB（スルバシリン）	22.6	12.4	-10.2
③	CTRX（セフトリアキソン）	1.9	6.4	+4.5
④	ABPC（ピクシリン）	2.3	4.9	+2.5
⑤	PIPC/TAZ（ジシン）	4.7	1.4	-3.4

抗菌薬系統別AUD（DDD/1000患者日）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	第1セフェム系	51.4	55.3	+3.9
②	ペニシリン系	29.7	18.7	-11.0
③	第3セフェム系	2.0	6.4	+4.4
④	MRSA治療薬	0.2	0.6	+0.5
⑤	カルバペネム系	4.8	0.4	-4.4

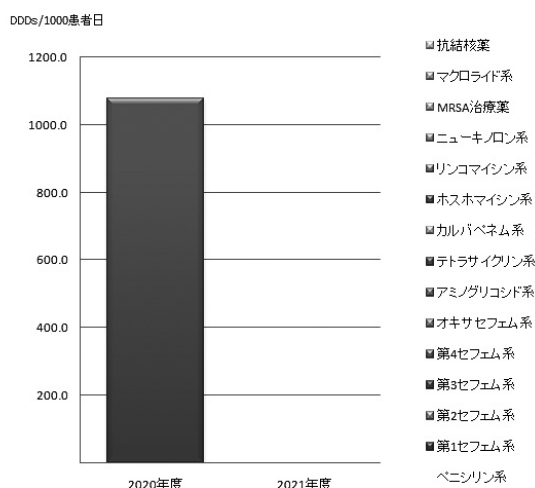
抗菌薬系統別使用比率（%AUD）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	第1セフェム系	56.2%	67.4%	+11.2%
②	ペニシリン系	32.4%	22.8%	-9.6%
③	第3セフェム系	2.1%	7.8%	+5.7%
④	MRSA治療薬	0.2%	0.8%	+0.6%
⑤	カルバペネム系	5.3%	0.5%	-4.8%

F. 耳鼻咽喉科（入院患者）

耳鼻科の抗菌薬使用はなかった。

耳鼻科病棟患者 抗菌薬系統別使用量（AUD）



薬剤別AUD（DDD/1000患者日）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ABPC/STB（スルバシリン）	1076.9	#DIV/0!	#DIV/0!
②	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
③	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
④	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
⑤	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A

抗菌薬系統別AUD（DDD/1000患者日）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	1076.9	#DIV/0!	#DIV/0!
②	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
③	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
④	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
⑤	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A

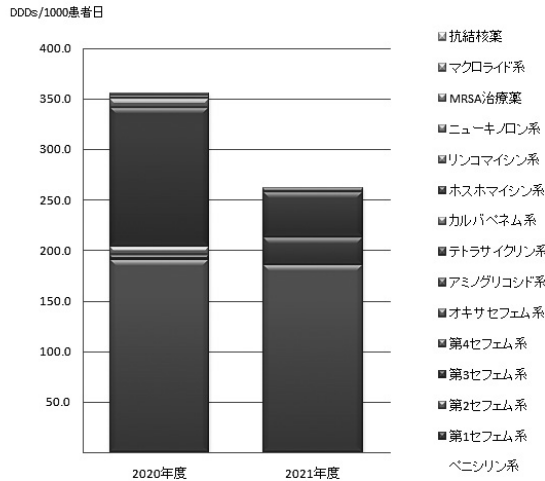
抗菌薬系統別使用比率（%AUD）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
②	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
③	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
④	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A
⑤	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A

G. 小児科（入院患者）

小児科の年間 AUD は261.7（前年比-93.4）と減少した。薬剤別 AUD ではスルバシリン注が143.2（前年比-6.4）で最も多く、次いでピクシリン注、セフトリアキソン注の順となった。抗菌薬系統別 AUD ではペニシリン系（前年比-5.0）が最も多く、次いで第3世代セフェム系、第1世代セフェム系の順となった。使用比率はペニシリン系が70.8%（前年比+17.2%）、第3世代セフェム系が17.2%、第1世代セフェム系が10.4%となった。

小児科病棟患者 抗菌薬系統別使用量（AUD）



薬剤別AUD（DDD/1000患者日）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ABPC/SBT（スルバシリン）	149.7	143.2	-6.4
②	ABPC（ピクシリン）	35.4	42.1	+6.8
③	CTRX（セフトリアキソン）	58.1	34.3	-23.8
④	OEZ（セファゾリン）	5.1	27.2	+22.1
⑤	CTX（クラフォラン）	37.8	7.0	-30.9

抗菌薬系統別AUD（DDD/1000患者日）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	190.4	185.4	-5.0
②	第3セフェム系	138.2	45.1	-83.1
③	第1セフェム系	5.1	27.2	+22.1
④	アミノグリコシド系	2.8	4.1	+1.3
⑤	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A

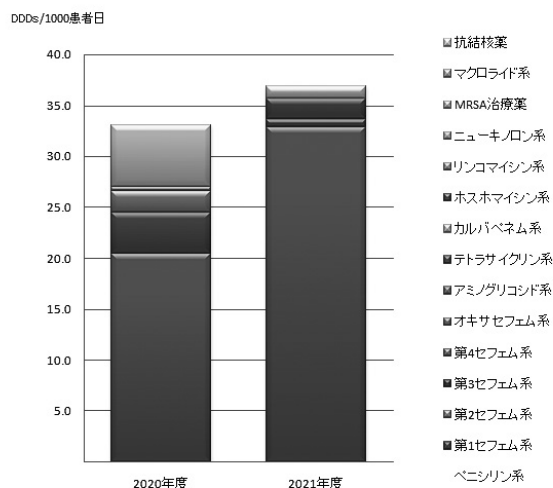
抗菌薬系統別使用比率（%AUD）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	53.6%	70.8%	+17.2%
②	第3セフェム系	38.9%	17.2%	-21.7%
③	第1セフェム系	1.4%	10.4%	+8.9%
④	アミノグリコシド系	0.8%	1.6%	+0.8%
⑤	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A

H. 産婦人科（入院患者）

産婦人科の年間 AUD は36.9（前年比+3.8）と増加した。薬剤別 AUD ではペントシリン注が27.4（前年比+10.7）で最も多く、次いでタゾピペ注、セフトリアキソン注の順となった。抗菌薬系統別 AUD ではペニシリン系（前年比+12.5）が最も多く、次いで第3セフェム系、カルバペネム系の順となった。使用比率はペニシリン系が89.0%（前年比+27.4%）、第3セフェム系が5.6%、カルバペネム系が3.4%となった。

産婦人科病棟患者 抗菌薬系統別使用量（AUD）



薬剤別AUD（DDD/1000患者日）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	PIPC（ペントシリン）	16.7	27.4	+10.7
②	PIPC/TAZ（ジジン）		5.5	+5.5
③	CTRX（セフトリアキソン）		2.0	+2.0
④	MEPM（メロペン）	6.1	1.3	-4.8
⑤	CMZ（セフメタゾール）	1.2	0.9	-0.4

抗菌薬系統別AUD（DDD/1000患者日）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	20.4	32.9	+12.5
②	第3セフェム系		2.0	+2.0
③	カルバペネム系	6.1	1.3	-4.8
④	第1セフェム系	4.0	0.8	-3.3
⑤	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A

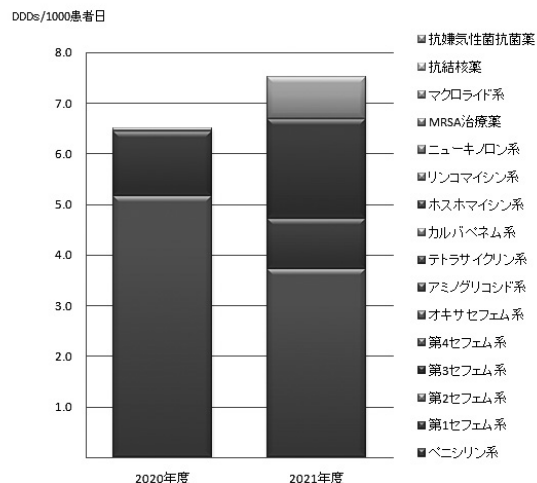
抗菌薬系統別使用比率（%AUD）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	61.6%	89.0%	+27.4%
②	第3セフェム系	0.0%	5.6%	+5.6%
③	カルバペネム系	18.4%	3.4%	-15.0%
④	第1セフェム系	12.2%	2.1%	-10.2%
⑤	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A

1. 精神科（入院患者）

精神科の年間 AUD は7.5（前年比+1.0）に増加した。薬剤別 AUD ではスルバシリン注が2.9（前年比-2.0）で最も多く、次いでセフトリアキソン注、セファゾリン注の順となった。抗菌薬系統別 AUD ではペニシリン系（前年比-1.4）が最も多く、次いで第3セフェム系、第1セフェム系の順となった。使用比率はペニシリン系が49.5%（前年比-29.7%）、第3セフェム系が26.1%、第1セフェム系が13.3%となった。

精神科病棟患者 抗菌薬系統別使用量（AUD）



薬剤別AUD（DDDs/1000患者日）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ABPC/STB（スルバシリン）	4.9	2.9	-2.0
②	CTRX（セフトリアキソン）	1.2	2.0	+0.8
③	CEZ（セファゾリン）		1.0	+1.0
④	PIPC/TAZ（ゾシン）	0.3	0.8	+0.6
⑤	LVFX（クラビット）		0.8	+0.8

抗菌薬系統別AUD（DDDs/1000患者日）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	5.2	3.7	-1.4
②	第3セフェム系	1.3	2.0	+0.7
③	第1セフェム系		1.0	+1.0
④	ニューキノロン系		0.8	+0.8
⑤	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A

抗菌薬系統別使用比率（%AUD）

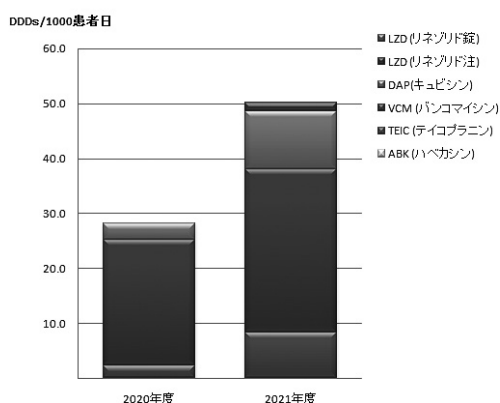
	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	ペニシリン系	79.2%	49.5%	-29.7%
②	第3セフェム系	19.7%	26.1%	+6.5%
③	第1セフェム系	0.0%	13.3%	+13.3%
④	ニューキノロン系	0.0%	11.0%	+11.0%
⑤	#N/A	#N/A	#N/A	#N/A

4. MRSA 治療薬の使用状況について

全入院患者における MRSA 治療薬の年間 AUD は50.2（前年比+22）に増加した。薬剤別 AUD ではバンコマイシン注29.7（前年比+6.7）、キュビシン注10.5（前年比+7.5）、テイコプラニン注8.4（前年比+6.1）となった。

バンコマイシン点眼液等、外用薬の抗 MRSA 薬の処方数はなかった。

全入院患者 MRSA 治療薬使用量（AUD）



全入院患者薬剤別AUD（DDDs/1000患者日）

	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	VCM（バンコマイシン）	23.0	29.7	+6.7
②	DAP（キュビシン）	3.0	10.5	+7.5
③	TEIC（テイコプラニン注）	2.3	8.4	+6.1
④	LZD（リネゾリド注）		1.6	+1.6
⑤				

全入院患者抗MRSA外用薬使用本数（本）

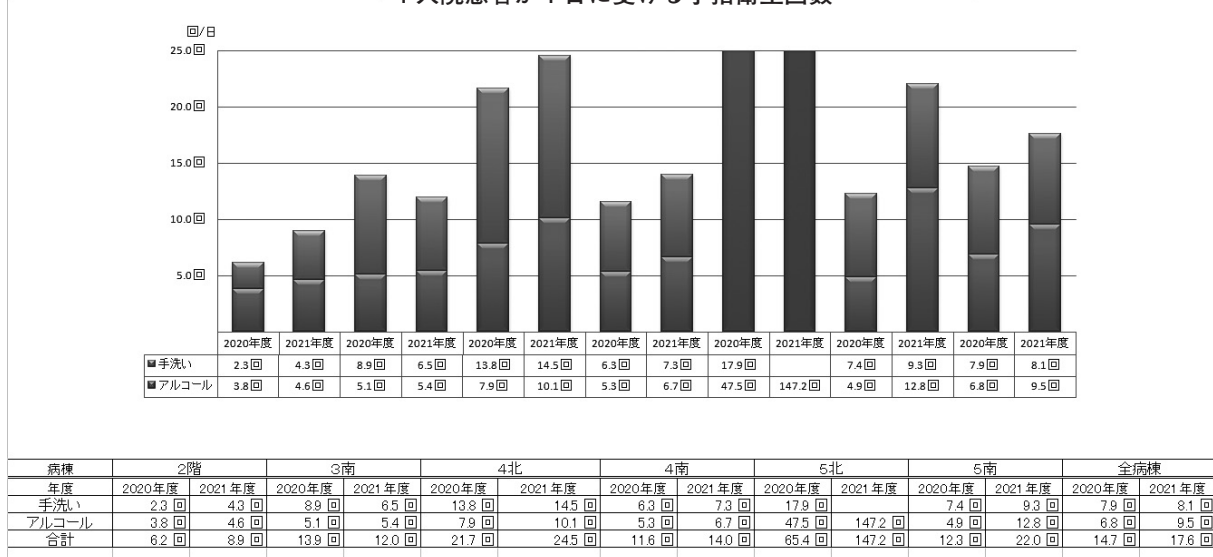
	抗菌薬	2020年度	2021年度	前年比
①	バンコマイシン点眼液2.5%	0	0	±0
②	バクトロバン鼻腔用軟膏	0	0	±0

5. 消毒薬の使用状況について

アルコール手指消毒剤と液体石鹸の年間請求量を使用回数に換算し、これを患者在院日数で除して「1 入院患者に関わる病院スタッフが1 日に行う手指衛生回数」を算出した。請求量から算出した手指衛生回数（手洗い＋アルコール消毒）は全病棟17.6回（前年度14.7回）、2 階病棟8.9回（前年度6.2回）、3 階南病棟12.0回（前年度13.9回）、4 階北病棟24.5回（前年度21.7回）、4 階南病棟14.0回（前年度11.6回）、5 階北病棟147.2回（前年度65.4回）、5 階南病棟17.6回（前年度14.7回）であった。5 北病棟はコロナ対策病棟となった関係で、有意な値は得られていない。

全体的に見て、昨年度から手指衛生回数は増加していた。3 南を除く全ての病棟で手指衛生回数が増加といった状況であった。アルコールによる手指消毒回数だけをみると、全ての病棟で増加していた。アルコール製剤の手指消毒目標回数は10回／日なので、アルコール手指消毒剤での手指衛生回数の更なる増加が望まれる。

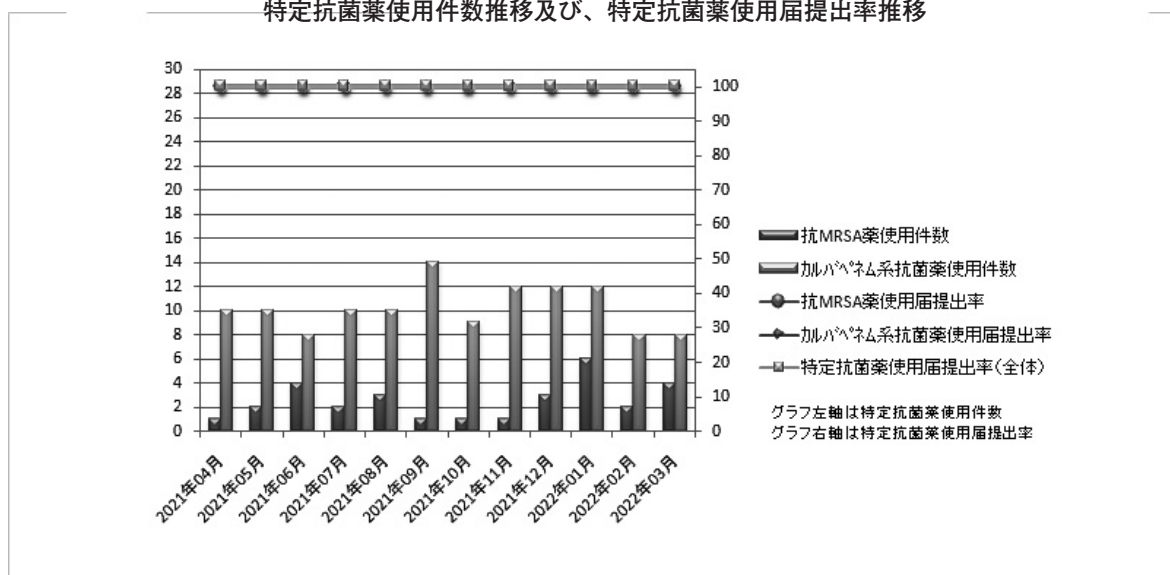
1 入院患者が1 日に受ける手指衛生回数



6. 特定抗菌薬の使用状況について

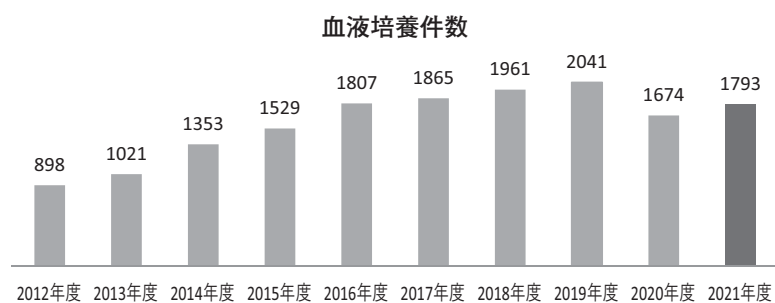
2021年度の特定抗菌薬使用状況は年間の合計でカルバペネム系抗菌薬が123件（前年比－46件）、抗 MRSA 薬30件（前年比＋5 件）となった。月平均での使用件数はカルバペネム系抗菌薬が約10件（前年比－4 件）、抗 MRSA 薬が約2 件（前年比± 0 件）であった。又、特定抗菌薬使用届提出率は100%を維持した。

特定抗菌薬使用件数推移及び、特定抗菌薬使用届提出率推移

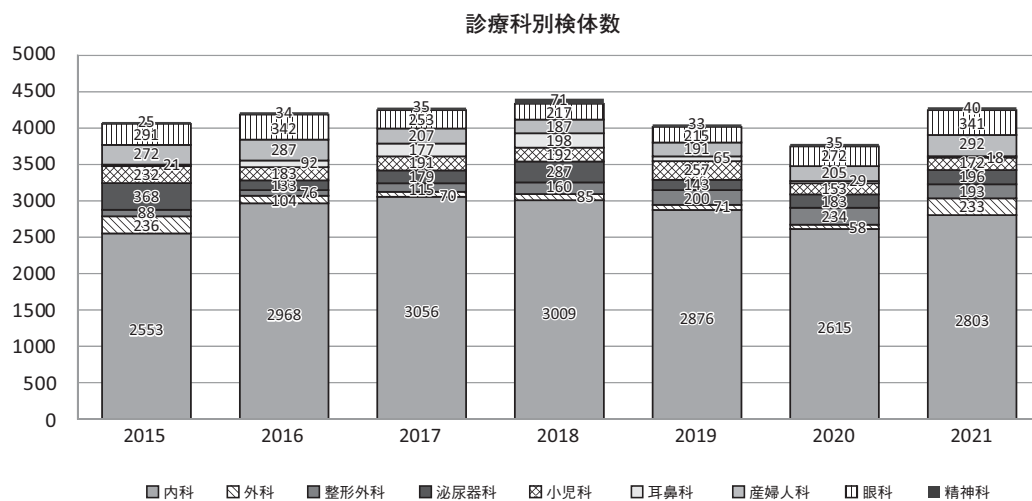
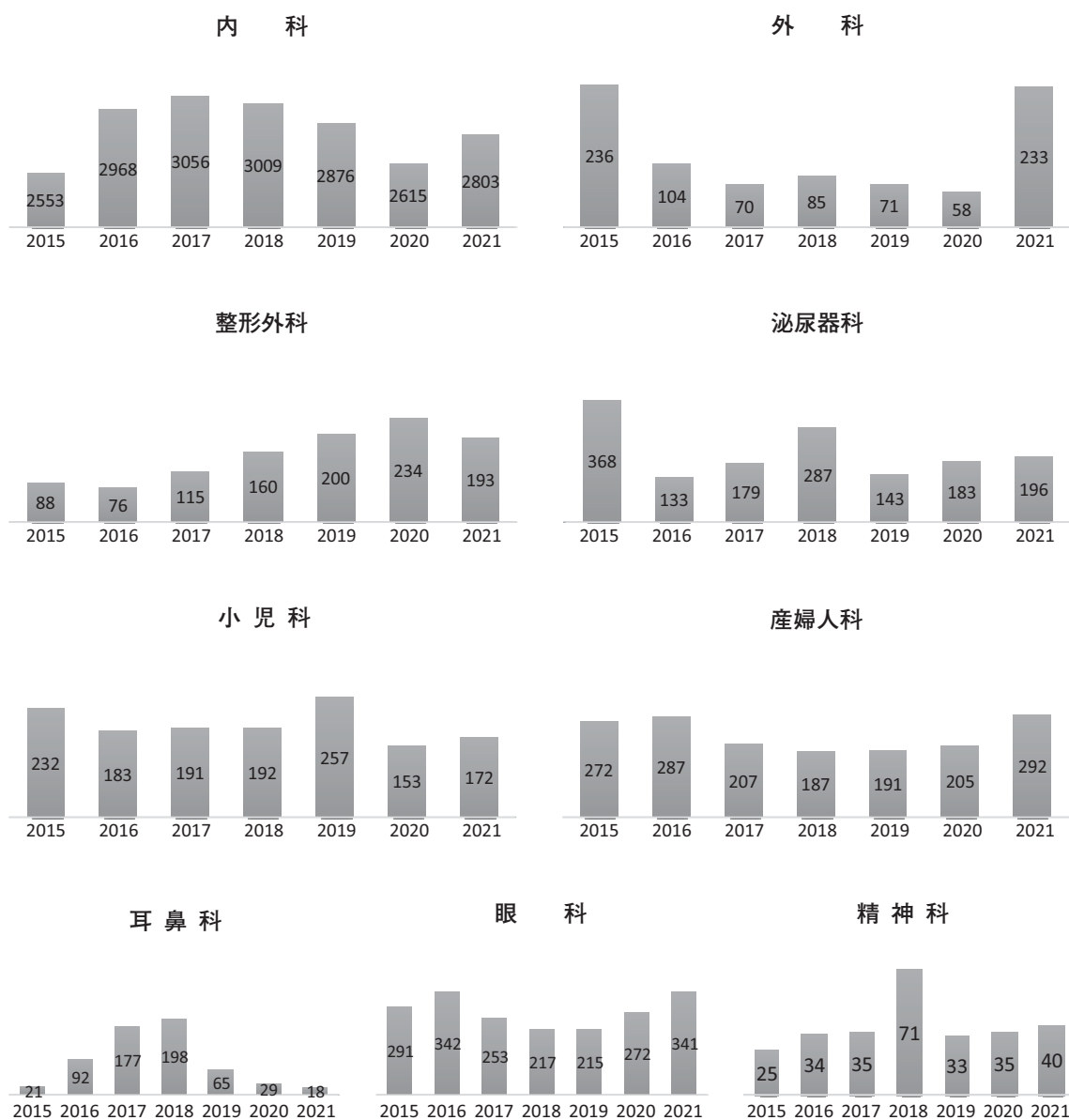


当院の微生物検査の動向

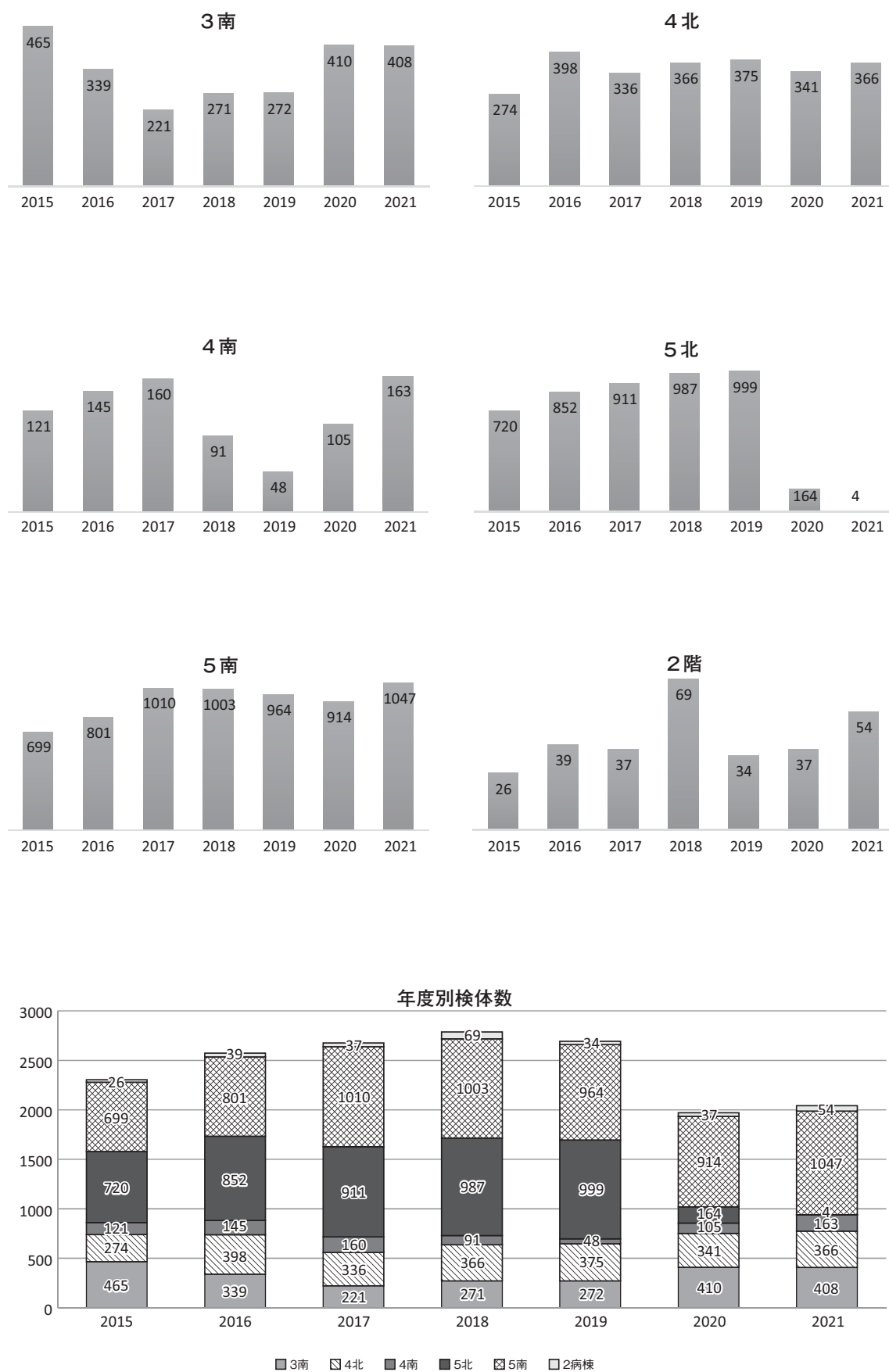
1. 当院細菌検査年間検査検体数



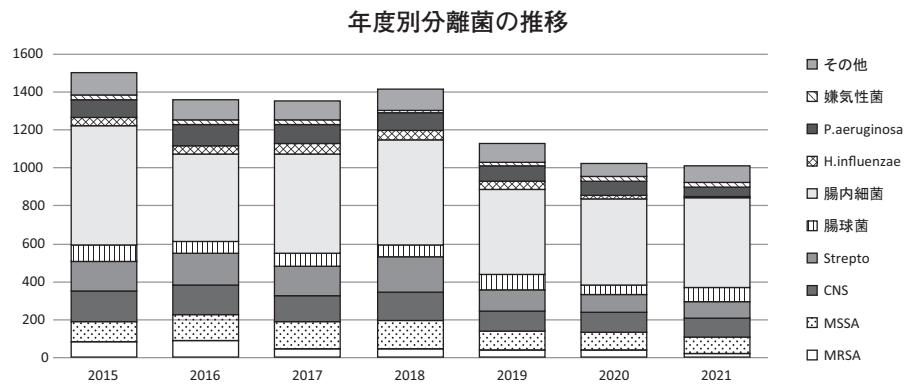
2. 診療科別検体数



3. 病棟別検体数

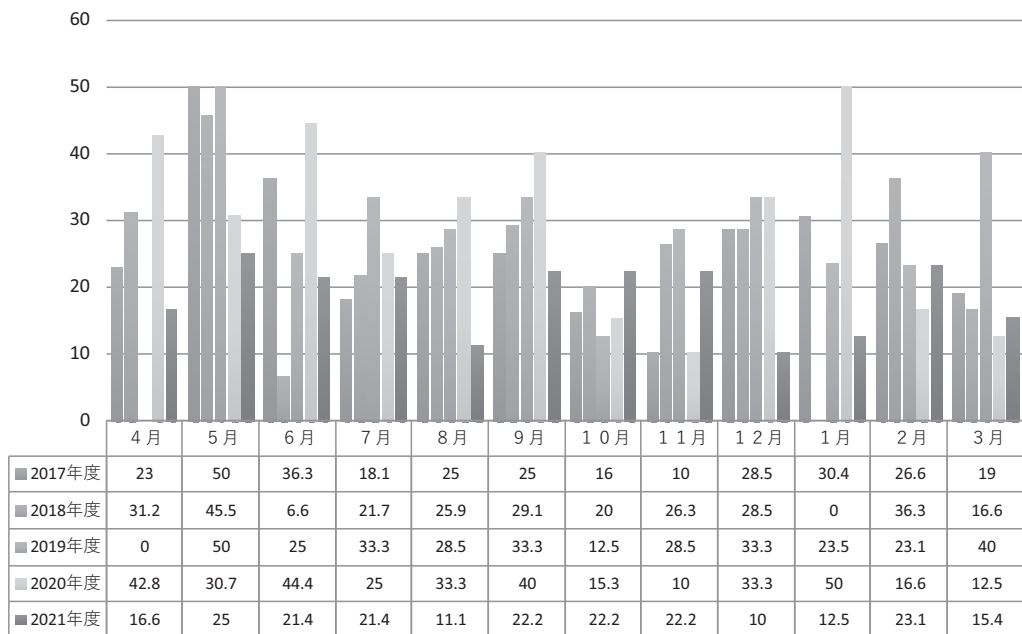


4. 分離菌の年度別推移

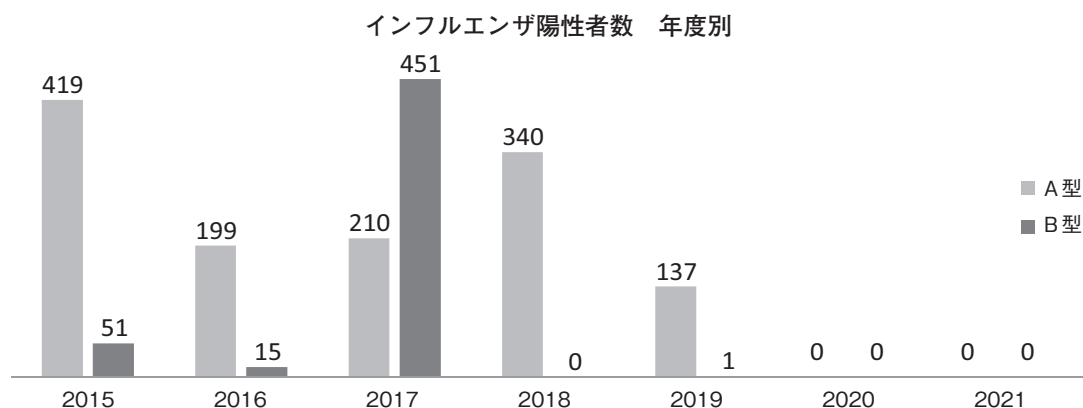


5. MRSA 数

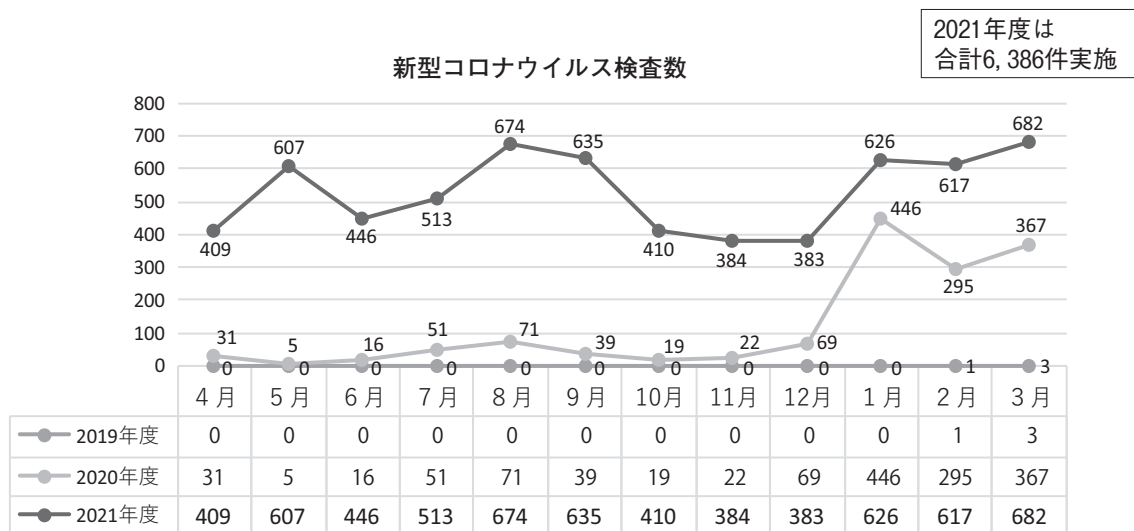
黄色ブドウ球菌 (S.aureus) における MRSA の割合
MRSA% (MRSA/MRSA+MSSA)



6. インフルエンザ年度別患者数



7. 新型コロナウイルス検査数



8. 抗菌薬感受性率 (2021年4月～2022年3月)

グラム陽性球菌		菌名	株数	PCG	ABPC	ABPC/ST	CEZ	GM	ABK	EM	CLDM	MINO	LVFX	VCM	TEIC	DAP	RFP	LZD
S. aureus(全て)			109	35%	34%	77%	81%	79%	96%	57%	60%	99%	72%	100%	100%	100%	100%	100%
MRSA			21	0%	0%	0%	0%	86%	95%	5%	14%	100%	33%	100%	100%	100%	100%	100%
MSSA			88	43%	42%	95%	100%	77%	97%	71%	72%	99%	82%	100%	100%	100%	100%	100%
E. faecalis			39	100%	100%	—	—	—	—	20%	—	51%	97%	100%	100%	100%	23%	100%
E. faecium			23	13%	17%	—	—	—	—	0%	—	39%	13%	100%	100%	100%	5%	100%
S. epidermidis			59	12%	12%	29%	29%	44%	100%	50%	64%	93%	36%	100%	98%	100%	98%	100%

グラム陽性レンサ球菌		菌名	株数	ABPC	PCG	CTX	CTRX	CFPM	CZOP	MEPM	EM	AZM	CLDM	MINO	LVFX	VCM	AMPC/CV
S. pneumoniae			6	—	100%	100%	100%	100%	100%	100%	40%	60%	60%	33%	100%	100%	100%
S. pyogenes			3	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	—
S. agalact-Gp B			24	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	88%	93%	94%	70%	63%	100%	—

■ : 感受性率 : 0～50% ■ : 感受性率51～70%

抗菌薬感受性率（2021年4月～2022年3月）

グラム陰性桿菌																		
菌名	株数	ABPC	CEZ	CTM	CTX	CAZ	CFPM	CPDX-PR	CMZ	MEPM	ABPCSBT	AMPCCVA	PTC/TAZ	GM	AMK	MINO	LVFX	CPFX
E.coli (全て)	223	66%	75%	85%	86%	91%	87%	80%	100%	100%	75%	89%	99%	94%	100%	96%	74%	74%
E.coli	198	75%	85%	96%	96%	99%	97%	90%	100%	100%	79%	90%	99%	95%	99%	96%	83%	83%
E.coli ESBL	25	0%	0%	0%	0%	32%	4%	0%	96%	100%	40%	80%	92%	80%	100%	96%	4%	4%
K.pneumoniae	133	8%	84%	95%	95%	98%	96%	95%	99%	99%	85%	95%	95%	98%	98%	98%	98%	98%
K.oxytoca	4	0%	0%	75%	75%	100%	75%	75%	100%	100%	50%	75%	75%	100%	100%	100%	75%	75%
S.marcescens	15	0%	0%	0%	—	40%	80%	27%	80%	100%	13%	0%	27%	100%	100%	93%	93%	87%
K.aerogenes	20	0%	0%	30%	70%	80%	100%	70%	5%	100%	25%	5%	85%	95%	100%	90%	95%	95%
E.cloacae	25	8%	4%	12%	80%	92%	96%	40%	12%	100%	36%	8%	96%	100%	100%	92%	96%	96%
P.mirabilis	21	95%	81%	95%	100%	100%	100%	90%	100%	100%	95%	95%	100%	100%	100%	24%	100%	76%
C.freundii	8	25%	0%	38%	75%	88%	100%	25%	50%	100%	50%	13%	88%	100%	100%	100%	88%	88%

菌名	株数	PIPC	CAZ	CZOP	CFPM	IPM/CS	MEPM	DRPM	AZT	PIPC/TAZ	GM	AMK	MINO	LVFX	CPFX	ST	CL
P.aeruginosa	52	86%	92%	92%	85%	87%	90%	96%	77%	87%	81%	96%	—	92%	94%	—	96%
S.maltophilia	6	—	0%	0%	—	—	—	—	—	—	—	—	100%	100%	—	100%	—
Ac.baumannii	7	100%	100%	100%	100%	100%	100%	—	—	—	86%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

菌名	株数	ABPC	CTM	CTX	CTRX	CFPM	CCL	CDTR-PI	MEPM	AMPCCVIA	ABPCSBT	CAM	MINO	LVFX	CPFX	ST	RFP
H.influenzae	7	43%	71%	100%	100%	100%	86%	100%	100%	86%	86%	86%	100%	100%	100%	43%	100%
M.catarrhalis	9	0%	100%	100%	100%	100%	67%	100%	100%	100%	89%	100%	100%	100%	100%	67%	100%

：感受性率：0～50% ：感受性率51～70%

令和３年度来訪者及び主な行事

○来訪者

年・月・日	内 容	備 考
R 3. 7. 19	５Ｇ遠隔診療実証実験視察	中田県福祉保健部長他
R 3. 7. 27	企業団本部によるＲ２年度決算補助監査	下山監査委員他
R 3. 7. 28	インフォームドコンセント研修会	講師：福岡顧問弁護士
R 3. 10. 20	五島保健所による精神病院実地指導	近藤保健所長他
R 3. 10. 26	長崎県病院企業団監査委員監査	下山監査委員他
R 3. 10. 26	ローカル５Ｇ遠隔診療説明会	長大病院脳神経内科：辻野教授他
R 3. 11. 16	ローカル５Ｇ遠隔診療実証実験視察	県福祉保健部長他
R 3. 11. 26	Ｒ４年度アイランドナース候補生による視察	
R 3. 11. 26	労働基準監督署による立入調査	長崎労基署：石津監督官他
R 3. 12. 24	ローカル５Ｇ遠隔診療実証実験視察	九州総合通信局長他

○主な行事

年・月・日	内 容	備 考
R 3. 4. 1	新規採用者辞令交付式	
R 3. 4. 17	活水女子大学就職説明会	大村市
R 3. 5. 6	新規採用者辞令交付式	
R 3. 6. 2	新規採用者辞令交付式	
R 3. 9. 11	看護師・助産師採用試験	長崎市
R 3. 9. 12	看護師・助産師採用試験	五島市、WEB
R 3. 9. 27	薬剤師採用試験	五島市
R 3. 10. 16	長崎県立大学離島看護師推薦枠選考試験	
R 3. 10. 28	衆議院選挙不在者投票実施	
R 3. 11. 7	医療技術修学資金貸与学生採用試験	
R 3. 11. 22	災害訓練（災害対策本部のみ）	竹島院長他
R 3. 12. 1	県議会議員補欠選挙不在者投票	
R 3. 12. 1	新規採用者辞令交付式	
R 3. 12. 9	避難訓練実施	
R 3. 12. 16	Ｒ３年度五島地域病院運営協議会	
R 3. 12. 28	永年在職職員表彰式	５名
R 4. 1. 15	一般事務職員採用試験	
R 4. 1. 16	臨床検査技師・作業療法士採用試験	
R 4. 2. 17	長崎県知事選挙不在者投票	

五島中央病院紀要投稿規定

1. 本誌は五島中央病院の機関誌として年1回発行とする。
2. 投稿者は当院の職員とする。但し当院職員以外の者であっても編集委員会の承諾を得た場合はこの限りではない。
3. 投稿論文は医学、薬学、看護学など医療に関係のある学術論文で、他誌に発表されていないものとする。
4. 本誌の内容は総説、研究、症例報告、学術年報（学会・研究会発表及び掲載論文：同年の1月～12月に発表～発行されたもの）、及びその他（随想など）とする。
5. 投稿原稿の採否並びに順位は編集委員会で決定する。
6. 原稿は和文、欧文を問わない。
7. 編集の都合により原文の要旨を変えない範囲内で著者に訂正を求めることがある。
8. 掲載料は無料とし別冊は著者に10部を贈呈する。それ以上の別冊は実費を徴収する。
9. 原稿執筆の要項は次のとおりとする。
 - (1) 原稿は別々の用紙を用いて次のように区分する。
タイトルページ、和文用紙（400字以内）、本文、文献、図（写真）及び表（いずれも手札型以上の大きさ）、図及び表の説明で構成し、要旨にはキーワード（5個以内）を入れる。
 - (2) 本文は原則として、1. はじめに、2. 方法（症例）、3. 結果、4. 考察、5. まとめの各項目に区分する。
 - (3) 原稿は横書き和文ワードプロセッサ（A4用紙20字×20行）で作成する。
その際、専門用語以外は当用漢字、年号は西暦、数字は算用数字、薬品名は一般名、現代仮名遣いを使用し、句読点を正しくつける。FDでの提出も受け付ける。
 - (4) 表はA4用紙に1頁1表ずつとする。
 - (5) 論文の長さは図表を含めて下記を限度とし、規定枚数を越えた原稿は採用しない。
総説：400字×30枚、研究：400字×25枚、症例：400字×20枚、その他：400字×20枚
 - (6) 文献は本文中に引用されたもののみを別紙に一括し、本文中の引用箇所に引用順に肩番号をつける。
（例）神田¹⁾らの報告では…
 - (7) 文献の書き方は引用番号、著者名、題名、雑誌名、巻：頁（始頁－終頁）、発行年（西暦）の11頂で記載する。
 - (8) 単行本は引用番号、著者名、書名、（編集者名）、発行所名、発行年（西暦）、頁（始頁－終頁）、の順に記載する。
 - (9) 著者校正は1回のみとし、その際大幅な訂正は不可とする。
 - (10) 学会や研究会などで発表した論文を投稿される場合は、文末にその旨付記する。

原稿提出先：

〒853-0031 長崎県五島市吉久木町205番地 長崎県五島中央病院
五島中央病院紀要編集委員会
T e l : 0959-72-3181
F a x : 0959-72-2881

五島中央病院紀要

第 24 号

発行 令和 5 年 3 月 31 日

編集・発行 五島中央病院紀要編集委員会
〒853-0031
長崎県五島市吉久木町205番地
T E L 0959-72-3181
F A X 0959-72-2881

印刷 株式会社 昭和堂
〒854-0036
長崎県諫早市長野町1007-2
T E L 0957-22-6000

